

一般国道56号 なかむらすくも 中村宿毛道路
事業再評価

平成23年10月31日

国土交通省 四国地方整備局

一般国道56号 中村宿毛道路

【 目 次 】

1. 事業の概要	1
1.1. 事業の目的	1
1.2. 事業計画諸元	2
2. 事業経緯	3
2.1. 主な事業の経緯	3
3. 事業の必要性等に関する視点	4
3.1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化	4
3.1.1. 事業を巡る社会経済情勢の変化	4
3.1.2. 事業の効果や必要性	13
3.1.3. 事業採択時より再評価実施までの周辺環境の変化等	26
3.2. 事業の投資効果	27
3.2.1. 事業の投資効果	27
3.2.2. 前回評価時からの事業計画の変化	28
3.3. 事業の進捗状況	29
4. 事業の進捗見込みの視点	31
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	32
5.1. コスト縮減	32
5.2. 代替案立案等の可能性	32
6. 地方公共団体からの要望	32
7. 対応方針（原案）	33

1. 事業の概要

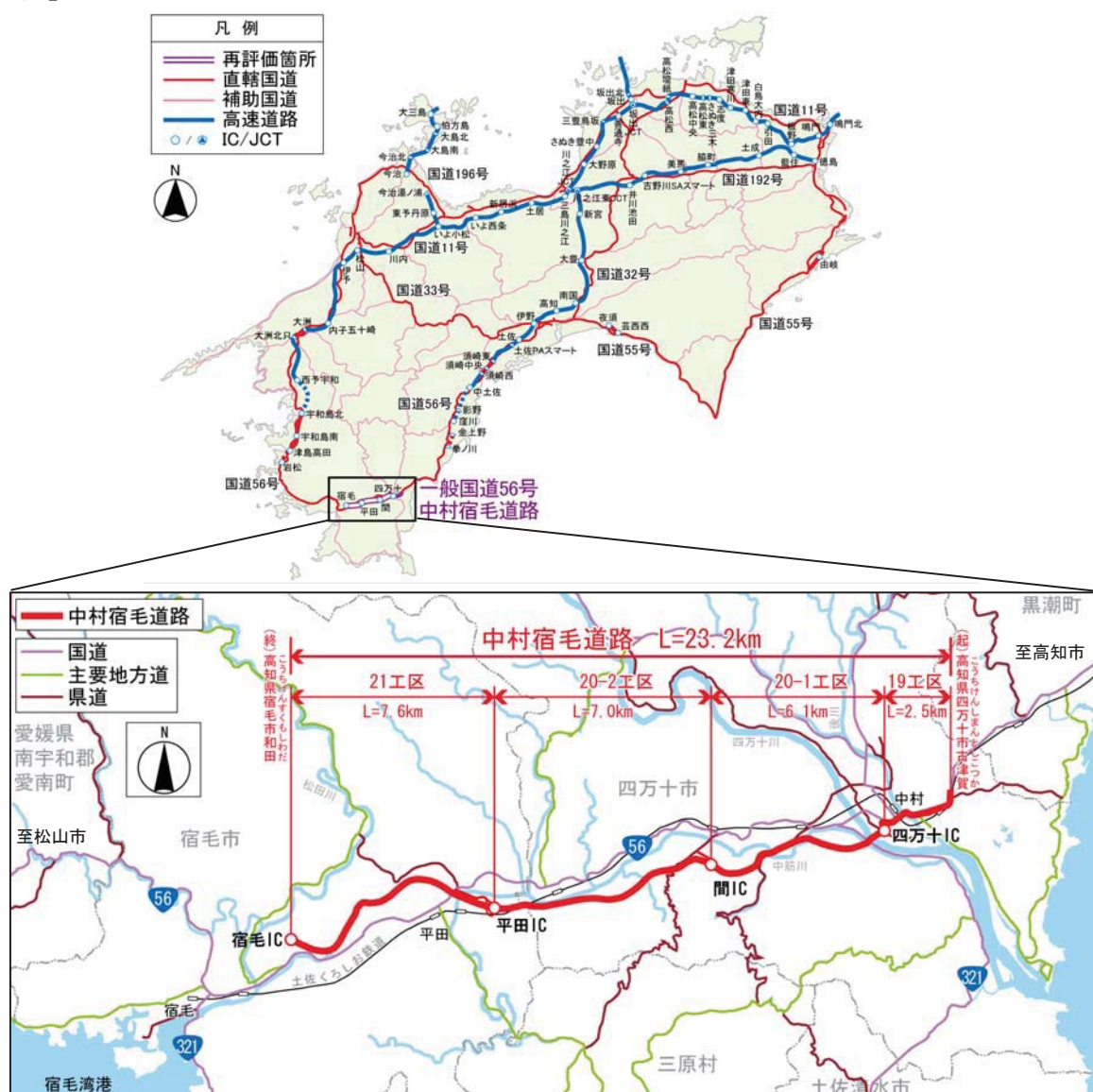
1.1. 事業の目的

一般国道56号は、高知市を起点に四万十市、宿毛市、宇和島市、大洲市を經由して松山市に至る延長約320kmの主要幹線道路である。本路線は、高知県、愛媛県の産業経済活動を支える大動脈であるとともに、県民の生活基盤として重要な役割を果たしている。

一般国道56号中村宿毛道路は、自動車専用道路部と一般道路部からなり、四万十市～宿毛市間の円滑な交通確保と道路冠水等による交通遮断の解消、四万十市内の渋滞の解消を目的とする延長23.2kmの道路である。

また、四国、中国、近畿経済圏との広域連携を目指した「8の字ネットワーク」は、高規格幹線道路等のネットワーク効果を四国内の隅々まで波及させるとともに、三次医療施設への搬送や南海地震等災害時の緊急輸送道路として大きな役割を担う必要不可欠な社会基盤であり、その高速交通ネットワーク形成の一部を担う事業として位置付けている。

【位置図】



1.2. 事業計画諸元

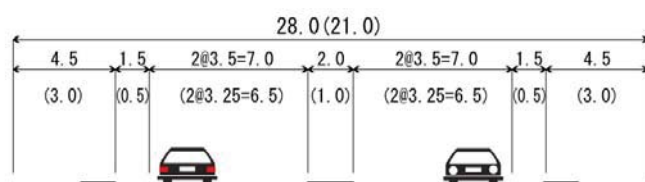
項目	内容
事業名	一般国道 56 号 ^{なかむらすくも} 中村宿毛道路
計画区間	自) ^{こうちけんしまんとしこつか} 高知県四万十市古津賀 至) ^{こうちけんすくもしわだ} 高知県宿毛市和田
計画延長	23.2km(内一般道路 L=2.5 km)
構造規格	第 1 種第 3 級(四万十市右山～宿毛市和田)自動車専用道路部 第 3 種第 2 級(四万十市古津賀本デン～四万十市古津賀ササ山)、 (四万十市下田交差点～四万十市右山)一般道路部 第 4 種第 1 級(四万十市古津賀ササ山～四万十市下田交差点)一般道路部
設計速度	一般道路部 60 km/h 自動車専用道路部(4 車線整備) 80 km/h 自動車専用道路部(2 車線整備) 80 km/h
車線数	2 車線、4 車線
標準幅員	一般道路(19 工区) 21.0～31.0m 自動車専用道路:4 車線整備(20-1、20-2 工区) 19.5～20.5m 自動車専用道路:2 車線整備(21 工区) 10.5m

(単位 : m)

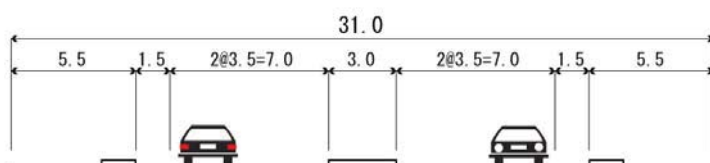
19 工区 (一般道路)

■幅員構成 [一般部・3 種 2 級]

() は四万十市下田交差点～四万十市右山

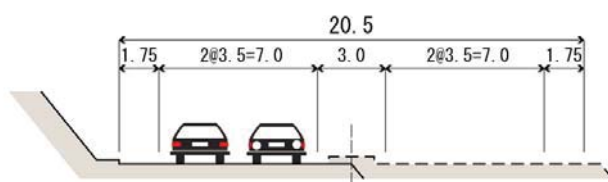


■幅員構成 [一般部・4 種 1 級]



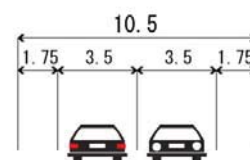
20-1 工区、20-2 工区 (自動車専用道路 : 4 車線整備)

■幅員構成 [1 種 3 級]

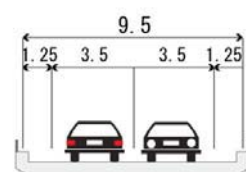


21 工区 (自動車専用 : 2 車線整備)

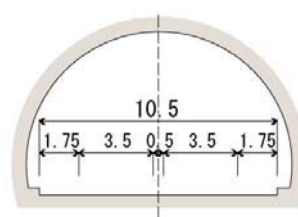
■土工部及び中小橋 (L<50m)



■橋梁部 (L≥50m)



■トンネル部

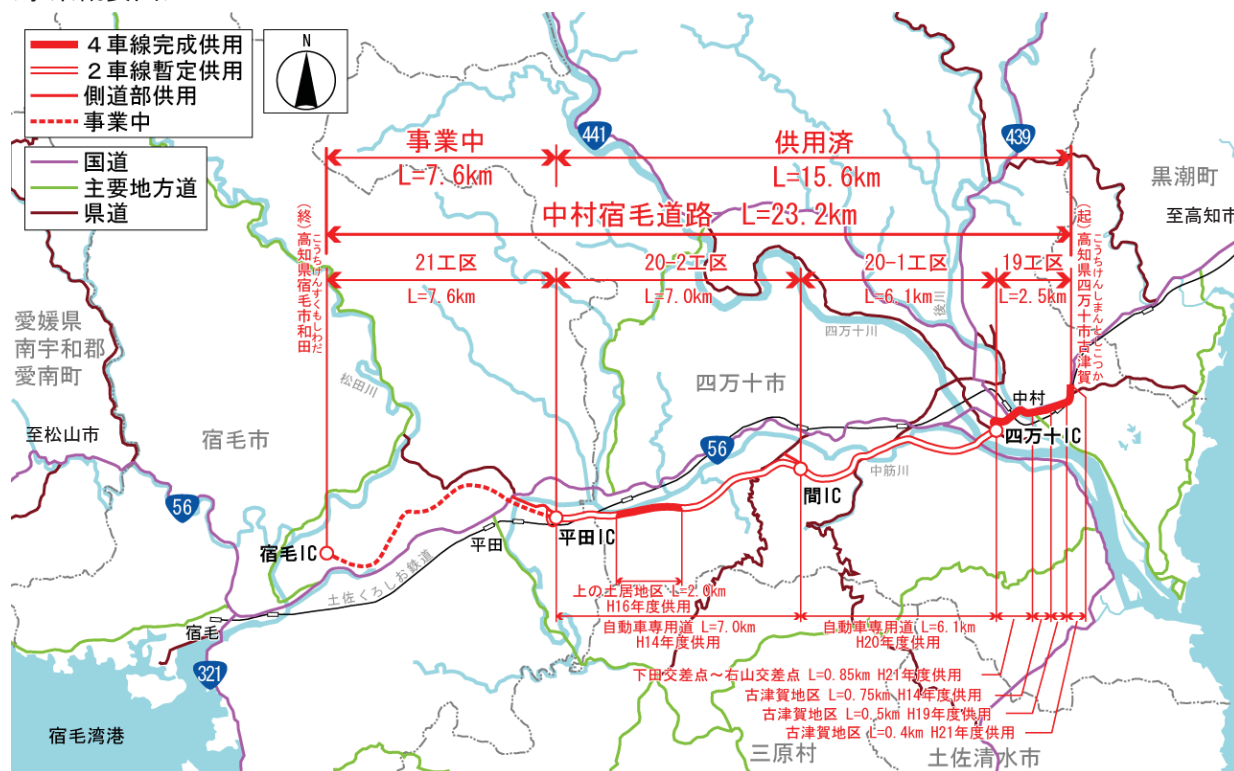


2. 事業経緯

2.1. 主な事業の経緯

時期	内容
昭和 50 年度	都市計画決定(中村地区 L=4.9km)
昭和 51 年度	中村宿毛道路(L=12.7km)事業化
昭和 53 年度	用地買収着手
昭和 54 年度	工事着手
昭和 57 年度	都市計画決定(平田地区 L=1.55km)
昭和 62 年度	高規格幹線道路に編入
平成元年度	中村宿毛道路(宿毛延伸部 L=7.6km)事業化
平成 7 年度	都市計画決定(古津賀地区 L=6.39km)
平成 14 年度	古津賀地区(L=0.75km)一部供用開始(4車線)
平成 14 年度	間IC～平田IC(L=7.0km)供用開始
平成 16 年度	上の土居地区(L=2.0km)4車線供用開始
平成 19 年度	古津賀地区(L=0.5km)一部供用開始(4車線)
平成 20 年度	四万十IC～間IC(L=6.1km)供用開始
平成 21 年度	下田交差点～右山交差点(L=0.85km)供用開始
平成 21 年度	古津賀地区(L=0.4km)供用開始(4車線)

<事業概要図>



※未供用の IC 名は仮称である

3. 事業の必要性等に関する視点

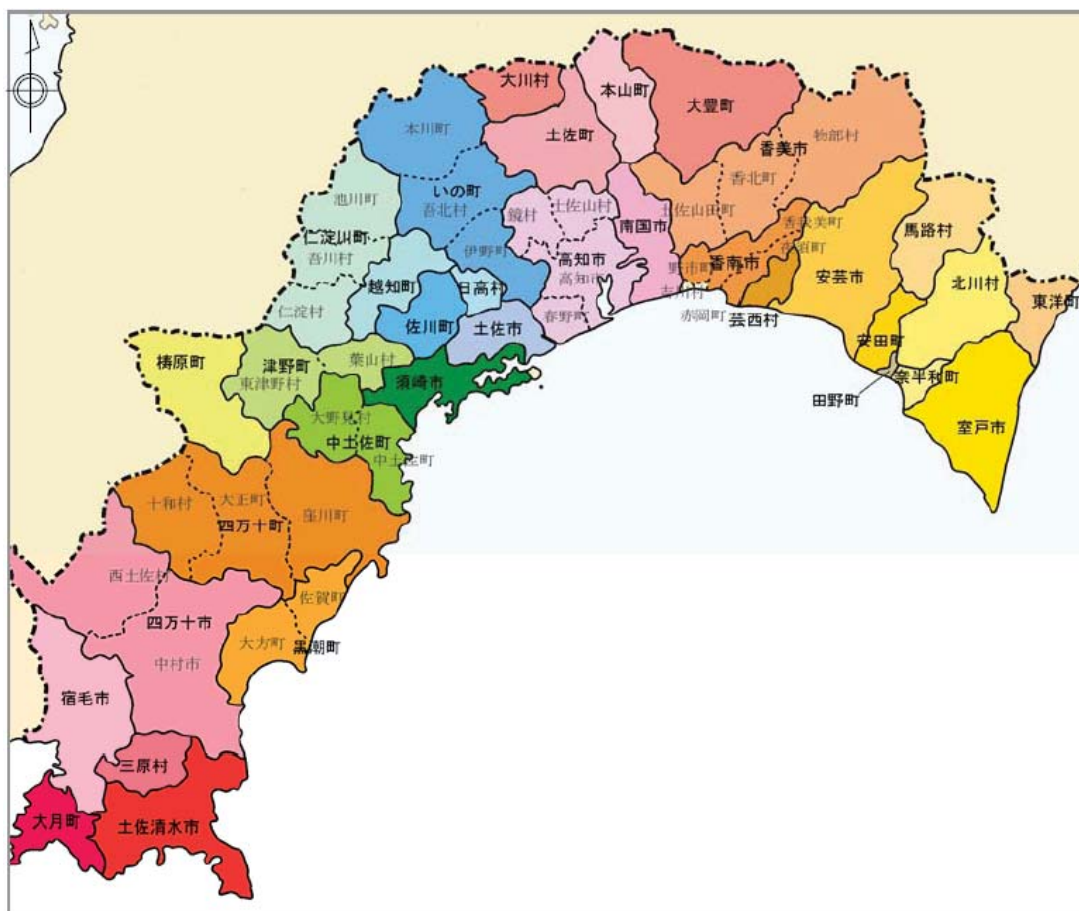
3.1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

3.1.1. 事業を巡る社会経済情勢の変化

(1) 市町村合併の状況

- 中村宿毛道路の起点側の四万十市は中村市と西土佐村が平成 17 年 4 月 1 日に合併し誕生した。終点側の宿毛市では市町村合併は行われていない。

<高知県の市町村合併状況>



市町名	合併期日	合併前の区域
吾川郡いの町	H16. 10. 1	伊野町、吾北村、本川村
高知市	H17. 1. 1	高知市、鏡村、土佐山村
	H20. 1. 1	高知市、春野町
高岡郡津野町	H17. 2. 1	葉山村、東津野村
四万十市	H17. 4. 10	中村市、西土佐村
吾川郡仁淀川町	H17. 8. 1	池川町、吾川村、仁淀村
高岡郡中土佐町	H18. 1. 1	中土佐町、大野見村
香南市	H18. 3. 1	赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村
香美市	H18. 3. 1	土佐山田町、香北町、物部村
高岡郡四万十町	H18. 3. 20	窪川町、大正町、十和村
幡多郡黒潮町	H18. 3. 20	佐賀町、大方町

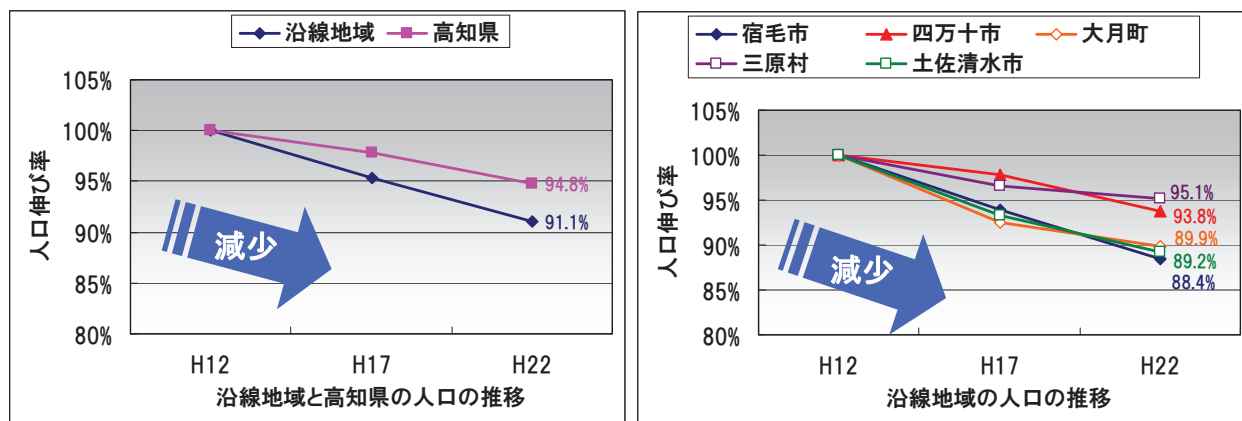
※) : 中村宿毛道路の沿線市町村

(2) 人口の動向

a) 総人口の推移

- 沿線地域の人口は、近年減少傾向にある。特に中村宿毛道路終点側の宿毛市は、周辺市町村の中でも最も減少率大きい。

<中村宿毛道路沿線市町村における人口の推移（H12 年比）>



(単位：人)

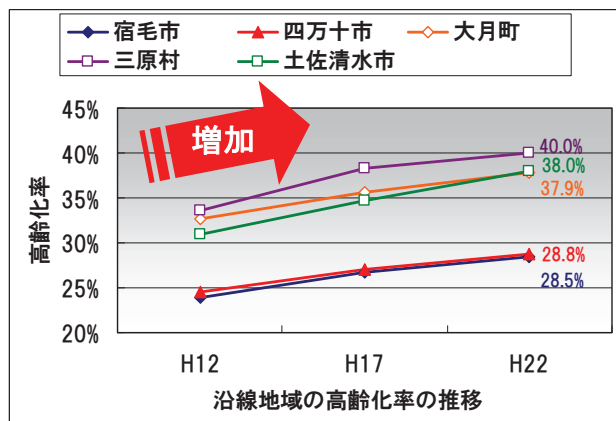
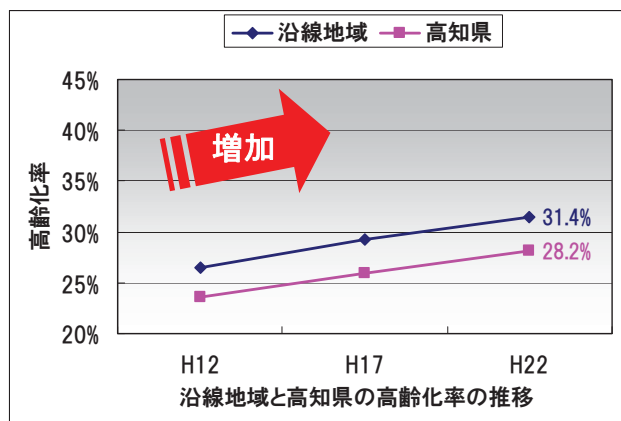
市町村別		人口		
		H12	H17	H22
沿線地域	宿毛市	25,970	24,397	22,954
	四万十市	38,784	37,917	36,380
	大月町	6,956	6,437	6,254
	三原村	1,871	1,808	1,780
	土佐清水市	18,512	17,281	16,515
	計	92,093	87,840	83,883
高知県		813,949	796,292	771,670

出典：H22 住民基本台帳（H22. 9. 30 現在）、H12・H17 国勢調査

b) 高齢者割合

- 高知県では、平成 22 年の高齢化率は 28.2%に達している。中村宿毛道路沿線の四万十市、宿毛市は高知県平均とほぼ同程度の高齢化率であるが、周辺市町村では高知県平均を遙かに上回る早さで高齢化が進んでいる。

<中村宿毛道路沿線市町村における高齢化率の推移（H12 年比）>



(単位：人)

市町村別		高齢者			人口		
		H12	H17	H22	H12	H17	H22
沿線地域	宿毛市	6,219	6,504	6,536	25,970	24,397	22,954
	四万十市	9,506	10,249	10,464	38,784	37,917	36,380
	大月町	2,267	2,296	2,369	6,956	6,437	6,254
	三原村	628	692	712	1,871	1,808	1,780
	土佐清水市	5,730	5,985	6,273	18,512	17,281	16,515
	計	24,350	25,726	26,354	92,093	87,840	83,883
高知県		191,729	206,375	217,745	813,949	796,292	771,670

出典：H22 住民基本台帳 (H22. 9. 30 現在)、H12・H17 国勢調査

(3) 産業活動の変化

a) 産業別就業人口の推移

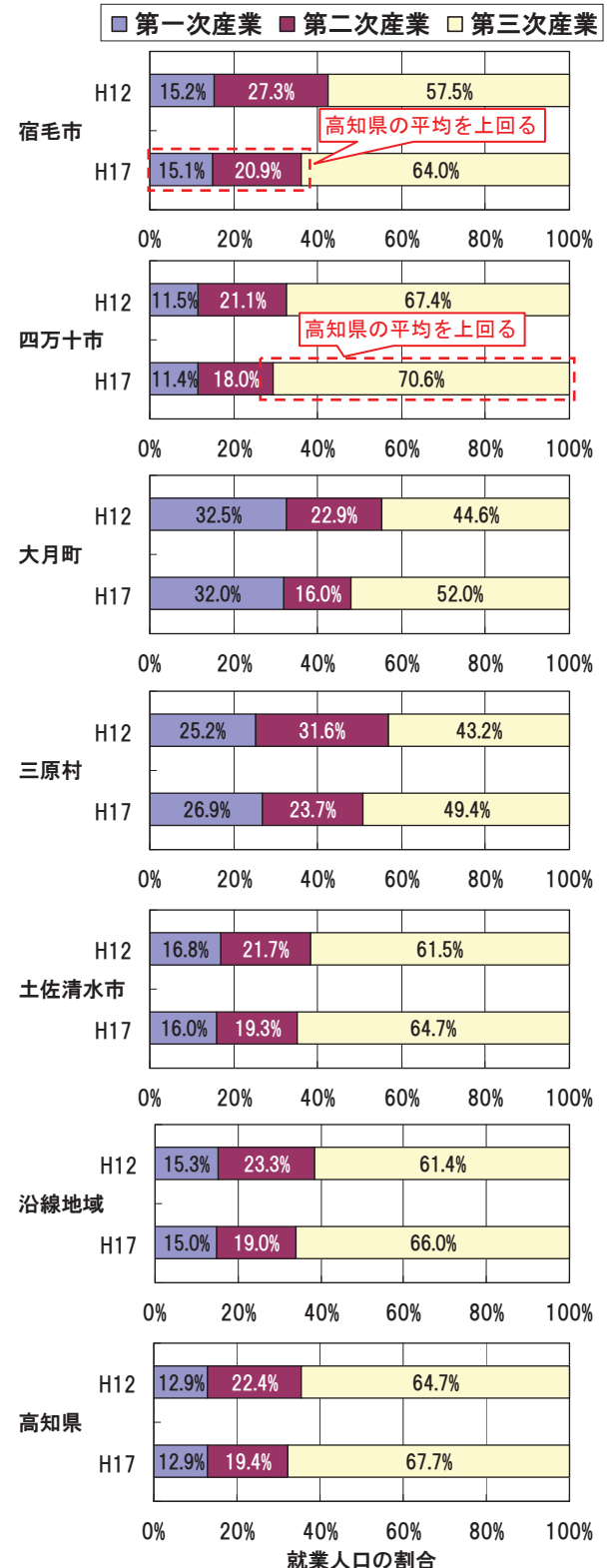
- 高知県平均と比較して、宿毛市では一次産業、二次産業が多く、四万十市では三次産業割合が多くなっており、宿毛市と四万十市では主要産業が異なっている。
- その他の周辺地域では、高知県平均に比べ一次産業の割合が高くなっている。

＜中村宿毛道路沿線市町村における産業別就業人口および構成比＞

(単位：人)

市町村別		産業	H12	H17
沿線地域	宿毛市	第一次産業	1,858	1,681
		第二次産業	3,328	2,318
		第三次産業	7,022	7,109
	四万十市	第一次産業	2,215	2,062
		第二次産業	4,051	3,273
		第三次産業	12,938	12,814
	大月町	第一次産業	1,016	856
		第二次産業	714	427
		第三次産業	1,394	1,392
	三原村	第一次産業	225	229
		第二次産業	282	202
		第三次産業	385	420
	土佐清水市	第一次産業	1,353	1,186
		第二次産業	1,746	1,427
		第三次産業	4,951	4,789
	計	第一次産業	6,667	6,014
		第二次産業	10,121	7,647
		第三次産業	26,690	26,524
高知県	第一次産業	50,512	47,198	
	第二次産業	87,827	71,144	
	第三次産業	253,065	247,648	

市町村別		産業	H12	H17
沿線地域	宿毛市	第一次産業	15.2%	15.1%
		第二次産業	27.3%	20.9%
		第三次産業	57.5%	64.0%
	四万十市	第一次産業	11.5%	11.4%
		第二次産業	21.1%	18.0%
		第三次産業	67.4%	70.6%
	大月町	第一次産業	32.5%	32.0%
		第二次産業	22.9%	16.0%
		第三次産業	44.6%	52.0%
	三原村	第一次産業	25.2%	26.9%
		第二次産業	31.6%	23.7%
		第三次産業	43.2%	49.4%
	土佐清水市	第一次産業	16.8%	16.0%
		第二次産業	21.7%	19.3%
		第三次産業	61.5%	64.7%
	計	第一次産業	15.3%	15.0%
		第二次産業	23.3%	19.0%
		第三次産業	61.4%	66.0%
高知県		第一次産業	12.9%	12.9%
		第二次産業	22.4%	19.4%
		第三次産業	64.7%	67.7%

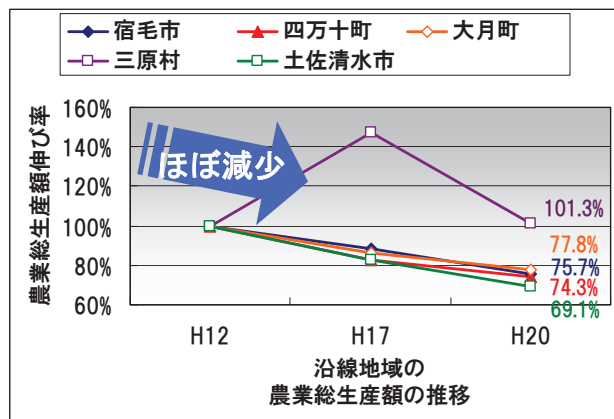
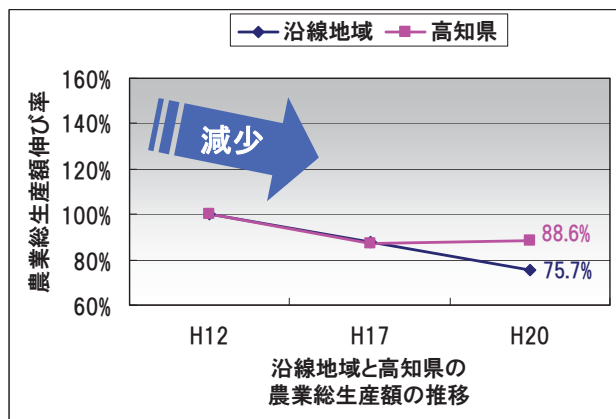


資料：H12、H17 国勢調査

b) 農業総生産額の推移

- 沿線地域の農業総生産額は、三原村を除いて減少傾向であり、その減少割合は高知県の平均値より大きい。

＜中村宿毛道路沿線市町村における農業総生産額の推移（H12年比）＞



(単位：百万円)

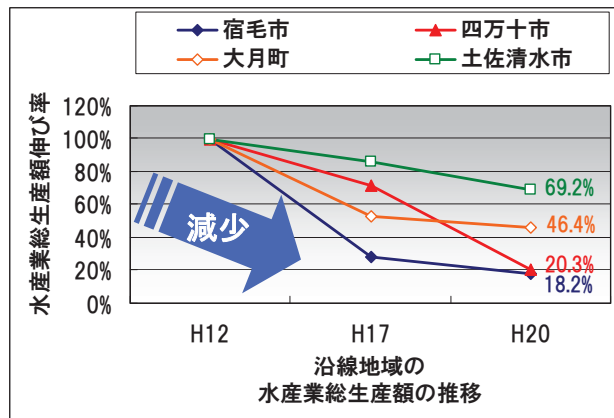
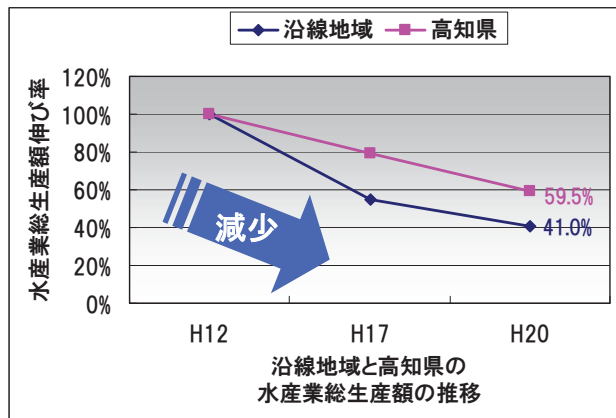
市町村別	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
沿線地域									
宿毛市	2,439	2,530	2,539	2,603	2,343	2,161	1,986	1,709	1,846
四万十市	2,010	2,075	2,102	2,126	1,853	1,663	1,678	1,449	1,493
大月町	775	792	828	743	728	671	590	468	603
三原村	239	232	229	295	339	352	368	329	242
土佐清水市	784	792	686	750	720	650	563	489	542
計	6,247	6,421	6,384	6,517	5,983	5,497	5,185	4,444	4,726
高知県	64,586	61,521	59,631	61,139	58,401	56,275	57,512	54,702	57,253

出典：市町村経済統計書

c) 水産業総生産額の推移

- 沿線地域の水産業総生産額は、減少傾向であり、その減少割合は高知県の平均値より大きい。特に、宿毛市、四万十市の減少割合が多い。

＜中村宿毛道路沿線市町村における水産業総生産額の推移（H12年比）＞



(単位：百万円)

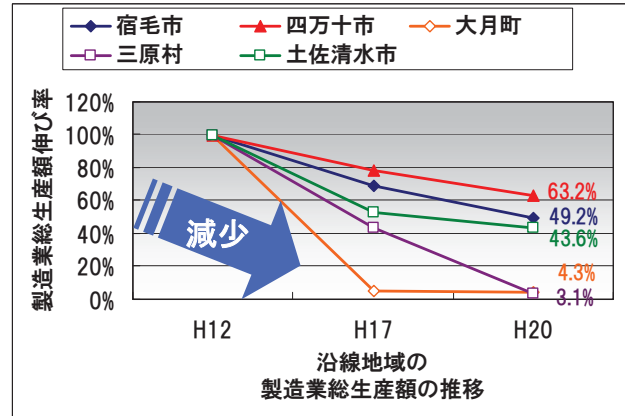
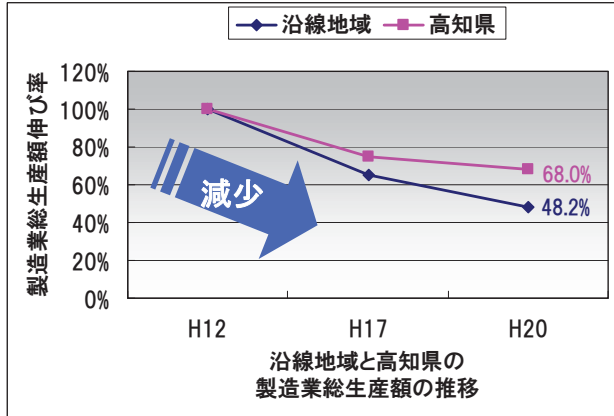
市町村別	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
沿線地域									
宿毛市	3,241	1,152	1,663	896	1,146	907	1,643	951	590
四万十市	546	475	344	205	202	389	260	202	111
大月町	1,995	1,014	1,839	869	1,361	1,056	1,302	1,115	925
三原村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土佐清水市	2,628	3,367	2,781	2,362	2,455	2,256	1,990	1,762	1,818
計	8,410	6,008	6,627	4,332	5,164	4,608	5,195	4,030	3,444
高知県	29,507	27,410	25,135	21,253	25,961	23,309	19,401	22,006	17,544

出典：市町村経済統計書

d) 製造業総生産額の推移

- 沿線地域の製造業総生産額は、減少傾向であり、その減少割合は高知県の平均値より大きい。特に、大月町、三原村の減少割合が多い。

＜中村宿毛道路沿線市町村における製造業総生産額の推移（H12年比）＞



(単位：百万円)

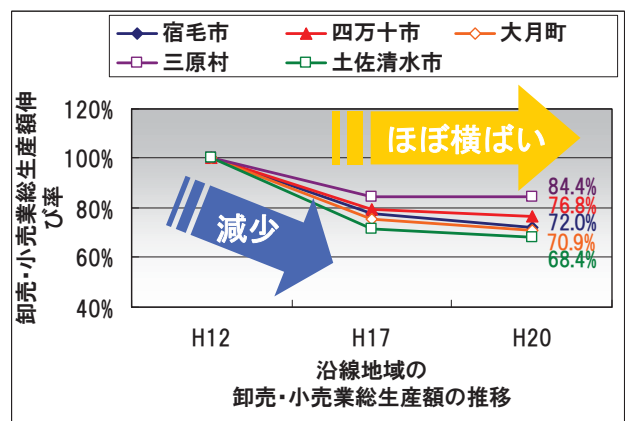
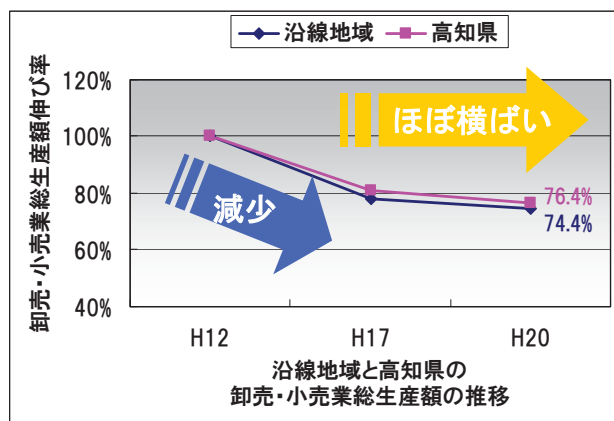
市町村別	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
沿線地域									
宿毛市	10,046	9,517	8,565	7,353	7,156	6,897	6,351	5,804	4,942
四万十市	6,086	5,569	5,894	5,361	4,765	4,773	4,067	3,597	3,845
大月町	682	526	491	407	297	36	36	33	29
三原村	1,161	917	1,027	862	895	504	415	434	36
土佐清水市	4,161	3,871	3,913	2,980	2,220	2,187	1,951	1,803	1,815
計	22,136	20,400	19,890	16,963	15,333	14,397	12,820	11,671	10,667
高知県	301,894	258,015	255,063	250,222	244,107	226,831	222,315	203,338	205,202

出典：市町村経済統計書

e) 卸売・小売業総生産額の推移

- 沿線地域の卸売・小売業総生産額は、H17年以降は横ばい傾向であり、その傾向は高知県の平均値とほぼ同じである。

＜中村宿毛道路沿線市町村における卸売・小売業総生産額の推移（H12年比）＞



(単位：百万円)

市町村別	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
沿線地域									
宿毛市	8,018	7,864	7,380	7,059	6,499	6,243	5,783	5,522	5,773
四万十市	16,070	15,089	14,635	14,047	13,078	12,784	12,164	11,806	12,342
大月町	506	489	479	440	362	381	355	350	359
三原村	122	113	112	104	98	103	103	103	103
土佐清水市	3,080	2,907	2,801	2,603	2,300	2,210	2,017	1,995	2,106
計	27,796	26,462	25,407	24,253	22,337	21,721	20,422	19,776	20,683
高知県	285,962	273,888	261,628	253,870	237,037	231,057	218,091	209,437	218,390

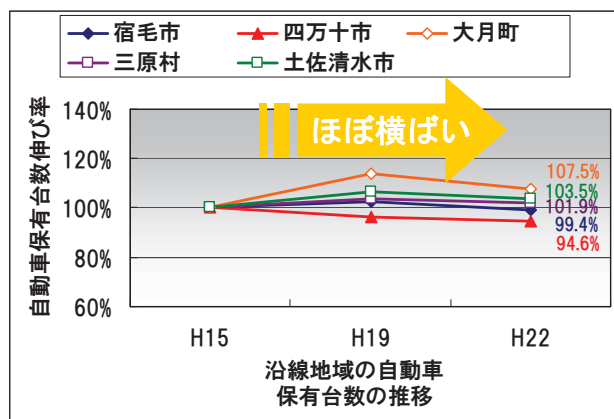
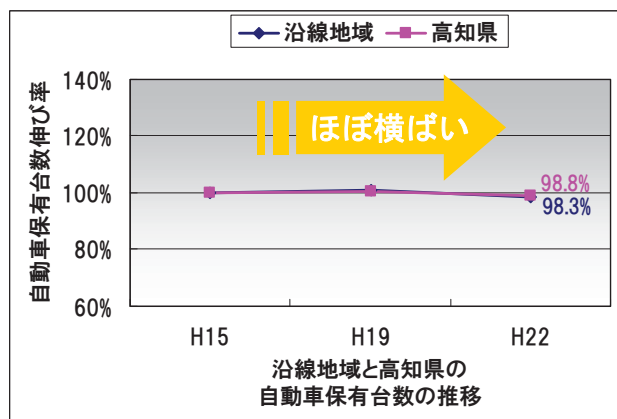
出典：市町村経済統計書

(4) 交通の動向

a) 自動車保有台数の推移

- 自動車の保有台数は、H15 からほぼ横ばいであり、その傾向は高知県平均値とほぼ同じである。

<中村宿毛道路沿線市町村における自動車保有台数の推移（H15 年比）>



(単位：台)

市町村別		自動車保有台数					
		H15	H17	H19	H20	H21	H22
沿線地域	宿毛市	18,098	18,761	18,565	18,273	18,037	17,992
	四万十市	32,841	31,713	31,579	31,230	31,087	31,072
	大月町	4,273	4,952	4,871	4,757	4,659	4,595
	三原村	1,756	1,859	1,824	1,816	1,791	1,789
	土佐清水市	10,653	11,512	11,364	11,147	11,067	11,028
	計	67,621	68,797	68,203	67,223	66,641	66,476
高知県		560,230	564,367	563,079	557,390	553,938	553,394

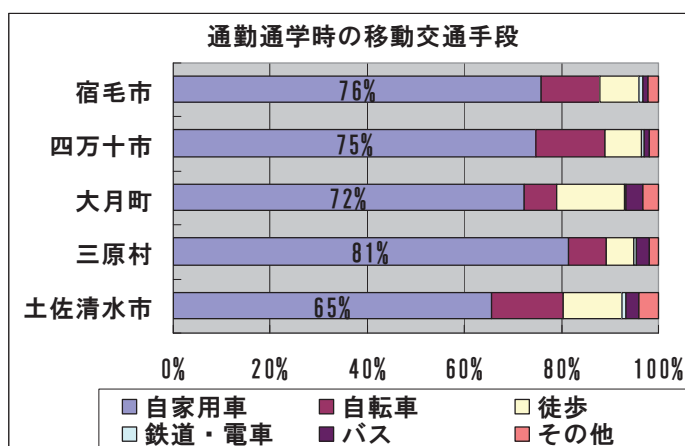
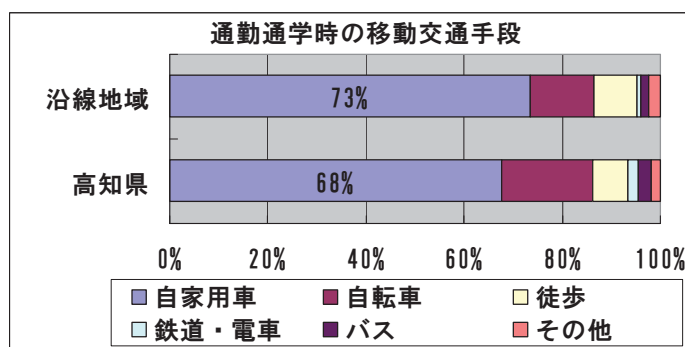
出典：四国運輸局

b) 地域間流動の変化

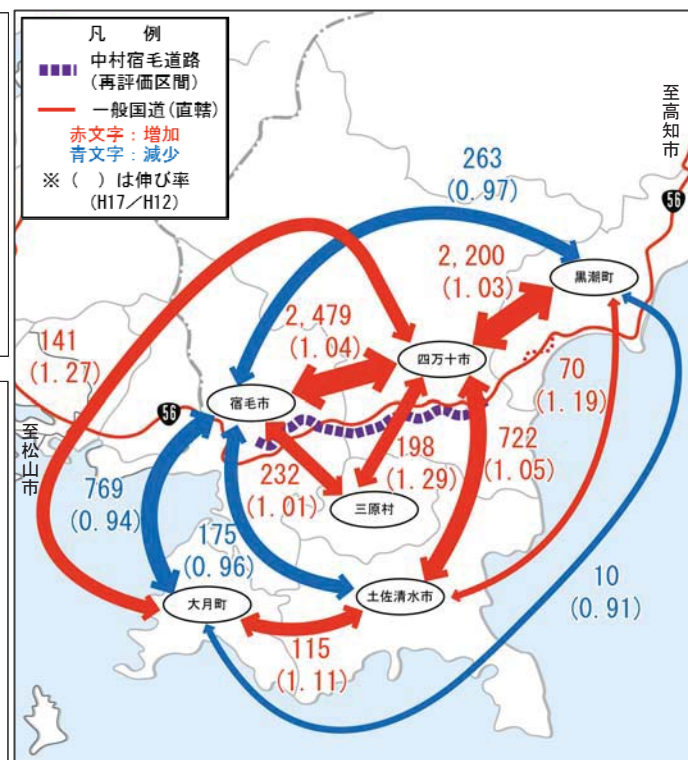
■ 自動車 OD 量

- 沿線地域における通勤・通学時の交通手段は約 7～8 割が自家用車であり、日常生活における自動車への依存度が高い。
- 幡多地域の周辺地域から中心都市である四万十市への通勤・通学流動が多くなっている。また、地域の主要都市である四万十市と宿毛市間の結びつきも強くなっている。

＜中村宿毛道路沿線市町村における
通勤・通学時の交通手段＞



＜中村宿毛道路沿線市町村における
通勤・通学流動＞



出典：H12、H17 国勢調査

(単位：人)

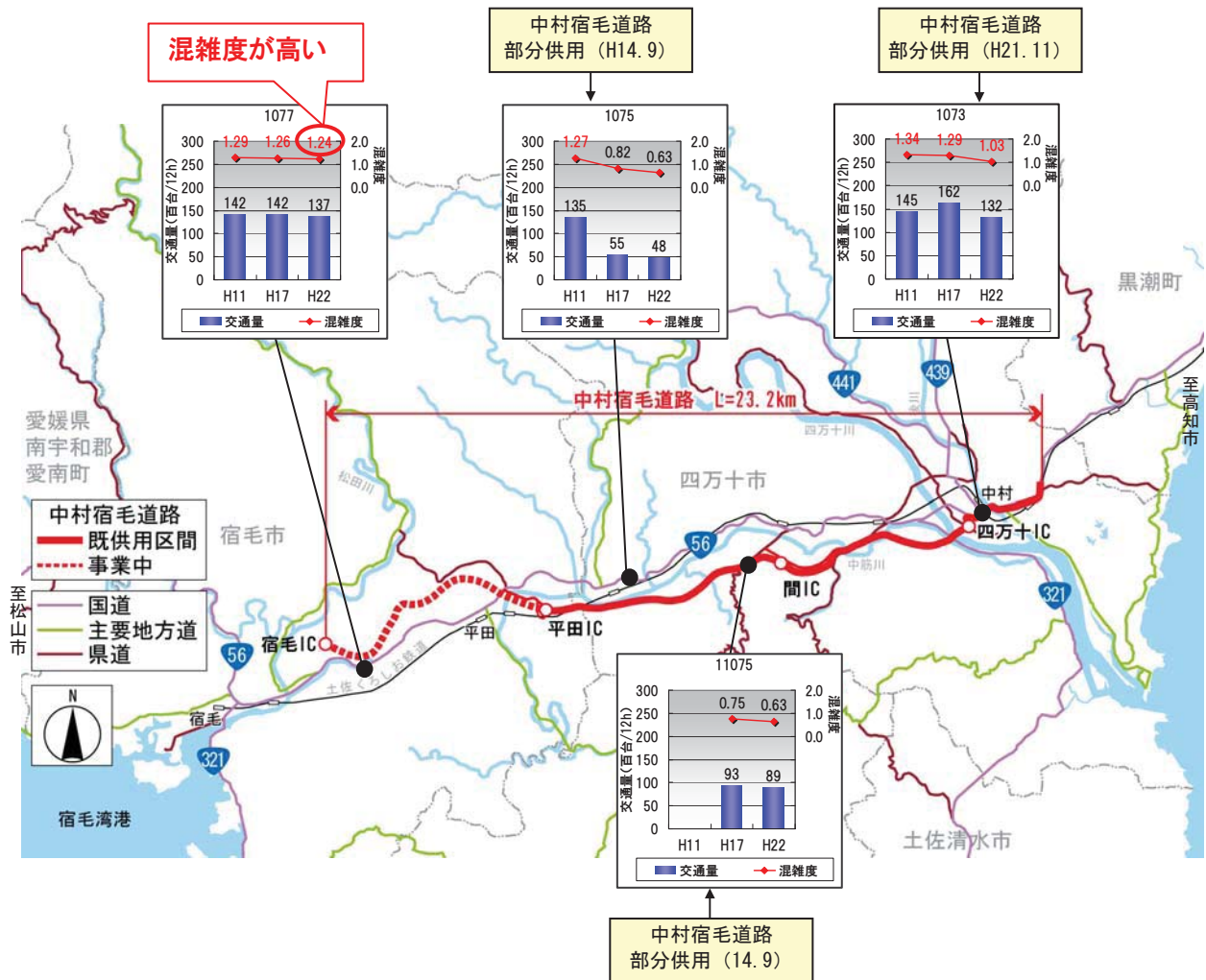
市町村別	自家用車	自転車	徒歩	鉄道・電車	バス	その他	合計
沿線地域							
宿毛市	7,641	1,231	800	91	123	206	10,092
四万十市	12,074	2,291	1,189	104	172	304	16,134
大月町	1,634	152	318	9	77	72	2,262
三原村	541	51	38	4	18	12	664
土佐清水市	4,167	943	781	36	183	252	6,362
計	26,057	4,668	3,126	244	573	846	35,514
高知県	226,997	62,840	24,034	6,370	8,942	6,594	335,777

出典：H12 国勢調査

c) 現道の交通状況の変化

- 中村宿毛道路（間～平田）の供用前（平成 11 年度道路交通センサス）では、国道 56 号の混雑度は軒並み 1.0 を上回る混雑状況を示していたが、供用後（平成 22 年度道路交通センサス）では、四万十 IC～平田 IC の並行区間については交通量の減少に併せて混雑度も低下している。
- 一方、中村宿毛道路が供用していない区間では、引き続き混雑度が高い状態である。

＜中村宿毛道路（間～平田）供用による交通量の変化＞



資料) H11 道路交通センサス、H17 道路交通センサス、H22 道路交通センサス
H22 混雑度は H17 時点の交通容量を基に算出

※未供用の IC 名は仮称である

3.1.2. 事業の効果や必要性

(1) 客観的評価指標による事業の効果や必要性

<客観的評価指標 (1/3) >

政策目標		指標		指標チェックの根拠
大項目	中項目			
1. 活力	円滑なモビリティの確保	●	現道等の年間時間損失(人・時間)及び削減率	時間損失削減量:1,800 千人・時間/年 削減率:95% (時間損失削減量:353 千人・時間/年 削減率:79%) ()内は、残区間を示す
		■	現道等における混雑時旅行速度が 20km/h 未満である区間の旅行速度の改善が期待される	現道の旅行速度が約 8km 向上
		□	現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が 10,000 台時/日以上の上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■	現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	高知西南交通(路線バス、高速バス)
		■	新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	中村駅(特急停車駅) 国見地区～中村駅:約 2 分短縮
		■	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	高知龍馬空港(第二種空港) 宿毛市～高知龍馬空港:約 12 分短縮
	物流効率化の支援	■	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	宿毛湾港(重要港湾) 四万十市～宿毛湾港:約 12 分短縮
		■	農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	農産物の出荷における荷傷み軽減による高品質・ブランド化
		□	現道等における、総重量 25t の車両もしくは ISO 規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□	広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□	市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□	中心市街地内で行う事業である	
		□	幹線都市計画道路網密度が 1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
		□	DID 区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□	対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300 戸以上又は 16ha 以上、大都市においては 100 戸以上又は 5ha 以上)への連絡道路となる	

<客観的評価指標 (2/3) >

政策目標		指標		指標チェックの根拠
大項目	中項目			
1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	■	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	四国8の字ネットワークの形成率: 43%→46%に向上
		□	地域高規格道路の位置づけあり	
		■	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	高知市～宿毛市間を連絡するルートの一部を構成
		■	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	四万十市～宇和島市: 約 12 分短縮
		□	現道等における交通不能区間を解消する	
		□	現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■	日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	四万十市～宿毛市: 約 12 分短縮
	個性ある地域の形成	□	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	高知西南中核工業団地 宿毛湾港工業流通団地 「頑張る地方応援プログラム」(四万十市、宿毛市ともにあり)
		■	主要な観光地へのアクセス向上が期待される	四万十川、足摺海底館、だるま夕日
		□	新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	□	自転車交通量が 500 台/日以上、自動車交通量が 1,000 台/12h 以上、歩行者交通量が 500 人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□	バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		□	市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	二次医療施設(幡多けんみん病院)へのアクセス向上

<客観的評価指標 (3/3) >

政策目標		指標		指標チェックの根拠
大項目	中項目			
3. 安全	安全な生活環境の確保	■	現道等に死傷事故率が 500 件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	国道 56 号(現道)における死傷事故率 500 件/億台キロ以上の箇所:平田交差点(778.5 件/億台キロ)
		□	当該区間の自動車交通量が 1,000 台/12h 以上(当該区間が通学路である場合は 500 台/12h 以上)かつ歩行者交通量 100 人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が 40 人/日以上)の場合、又は歩行者交通量 500 人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	国道 56 号:第一次緊急輸送道路に指定
		■	緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	現道が冠水等により通行止めになった場合の代替路を形成
		■	並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A'路線としての位置づけがある場合)	A'路線としての位置づけあり
		□	現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□	現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4. 環境	地球環境の保全	●	対象道路の整備により削減される自動車からの CO2 排出量	CO2 排出削減量:6 千 t-CO2/年 CO2 排出削減率:3%
	生活環境の改善・保全	●	現道等における自動車からの NO2 排出削減率	NO2 排出削減量:63t-NOx/年 NO2 排出削減率:86%
		●	現道等における自動車からの SPM 排出削減率	SPM 排出削減量:6t-SPM/年 SPM 排出削減率:85%
		□	現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□	その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	□	関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		□	他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	□	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

(2) 事業の主な効果と必要性

■ 国土・地域ネットワークの構築

「命の道」の確保や地域間の交流・連携を担う四国8の字ネットワークの形成に寄与する

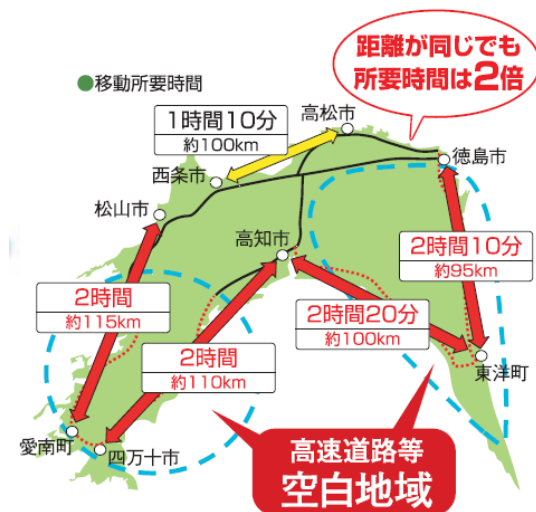
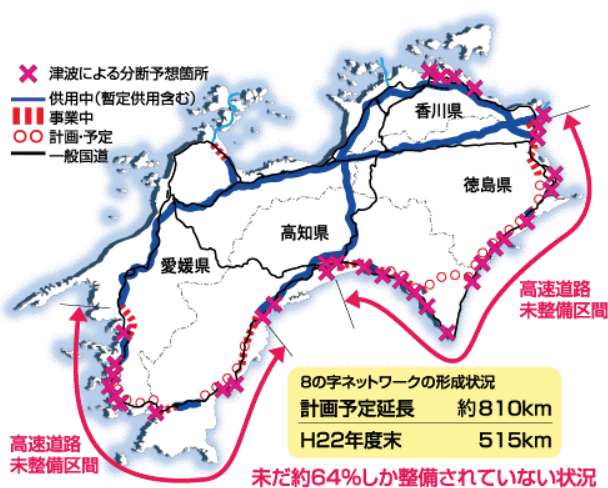
【現状・課題】

- ・ 高知県は「四国8の字ネットワーク」の形成率が低く、特に、高知県西南部地域は高速ネットワークの空白地となっている。
- ・ 地震による津波の予想浸水箇所は、ミッシングリンクに集中している。
- ・ 高規格道路網の整備の差によって、四国の主要都市間の所要時間に大きく差があり、高知県西南部地域は同じ四国内でも地理的ハンディキャップを背負っている。

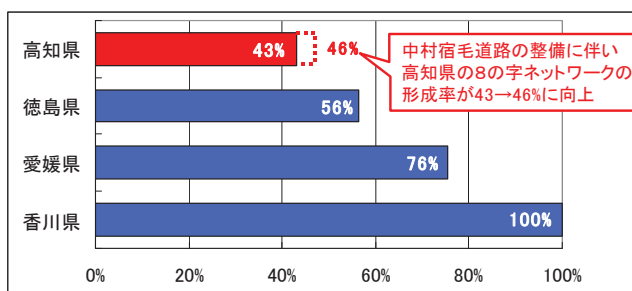
【整備効果】

- ・ 四国の8の字ネットワークの一部を担う中村宿毛道路の整備に伴い、「四国の8の字ネットワーク」の形成に寄与する。
- ・ 四国の8の字ネットワークの整備により、ミッシングリンクが解消することで「命の道」が確保されると共に、所要時間が大幅に短縮され地域間の交流・連携の支援が期待される。

< 四国の道路が抱える課題 >

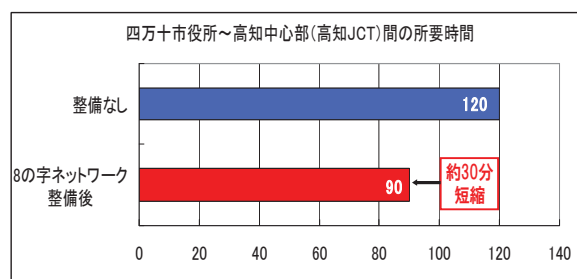


< 四国8の字ネットワークの形成率 >



(H23.4 現在)

< 四国8の字ネットワークによる所要時間の短縮 >



出典) 平成17年度道路交通センサス

■ 災害への備え

東南海・南海地震時における救援ルートの信頼性ならびに速達性が向上

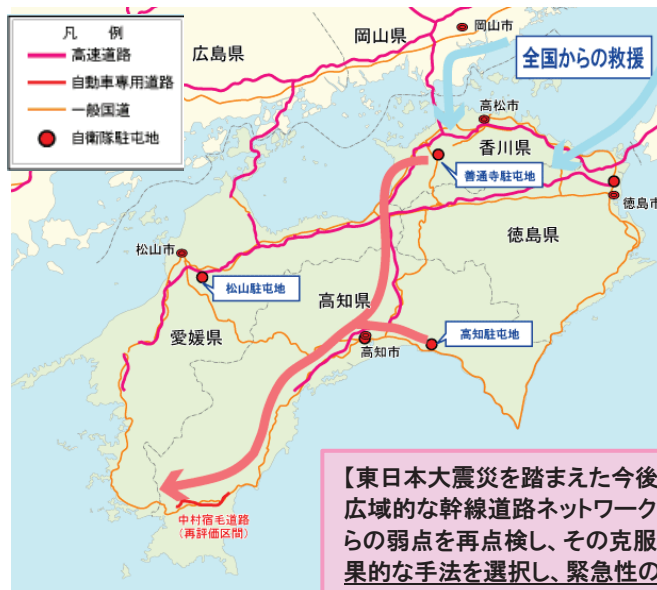
【現状・課題】

- 国道 56 号は高知県西部地域と中心部を結び、大規模災害時の救出や復旧活動に活用される第 1 次緊急輸送道路である。
- 東日本大震災を踏まえた今後の道路政策として、ミッシングリンクの解消や隘路区間の改良などの緊急性の高い箇所からの重点的な強化が提案されている。

【整備効果】

- 高規格道路である中村宿毛道路の整備に伴い、住宅地等の倒壊による道路の閉鎖が無い信頼性の高い救援ルートを確保できる。
- また、陸上自衛隊駐屯地とのアクセス性が向上し、迅速な救出や復旧活動を支援する。

＜東南海・南海地震発生時における信頼性の高い救援ルート＞

[illegible]

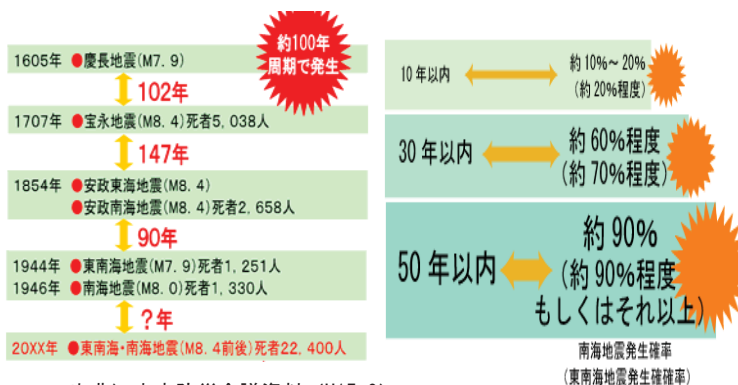
【下線部抜粋】尾崎知事は「心より歓迎し、最新の設備を備えた駐屯地で国土の防衛警備、次の南海地震への対応を期待します」とあいさつ。

【東日本大震災を踏まえた今後の道路政策への緊急提言】

広域的な幹線道路ネットワークについては、地域の孤立化や多重性の欠如など災害面からの弱点を再点検し、その克服に向けてミッシングリンクの解消や隘路区間の改良など効果的な手法を選択し、緊急性の高い箇所から重点的に強化を行う必要がある。

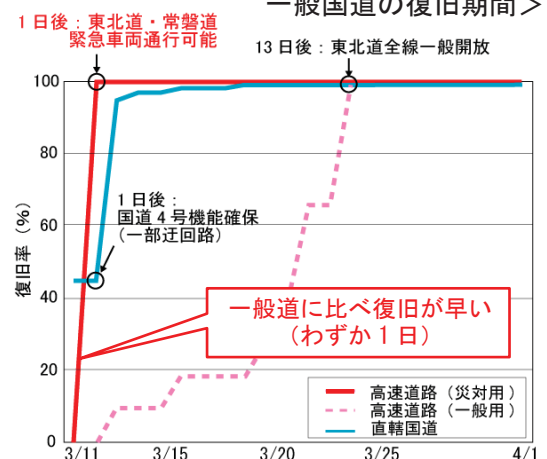
～高速道路のあり方検討有識者委員会(H23.7.14)より～

＜東南海・南海地震による死者
・東南海・南海地震の発生する確率＞



出典) 中央防災会議資料 (H15. 9)
地震調査研究推進本部 HP (H23. 1. 1)

＜東日本大震災における高速道路と一般国道の復旧期間＞



出典) 高速道路のあり方検討有識者委員会(H23.7)

■ 災害への備え

異常気象時における緊急輸送ネットワークの信頼性が向上

【現状・課題】

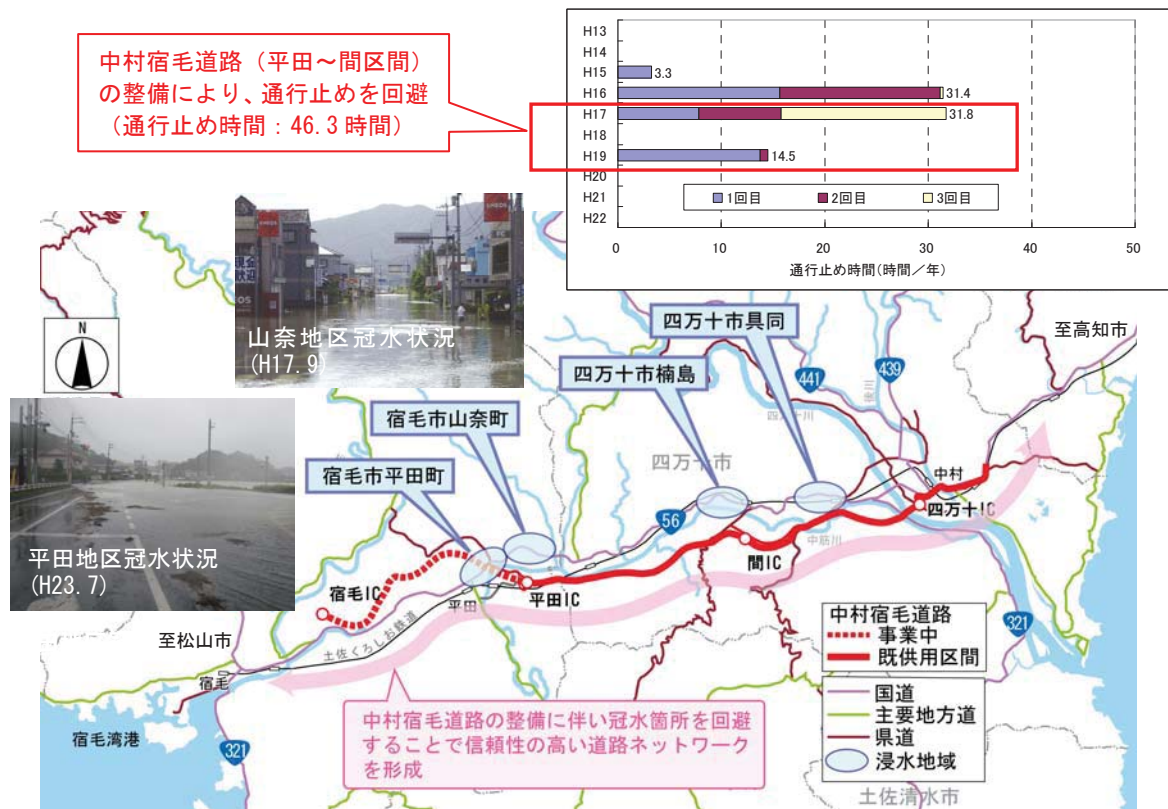
- 当該区間は、台風等の異常気象時に冠水する箇所が点在しており、第1次緊急輸送道路としての機能・役割を十分に果たすことが出来ない状況である。
(過去10年間(H13～H22)の通行止実績：規制回数27回、延べ通行止め時間169.6時間)
- 今年も7月、10月に路面冠水によって、通行止めが生じている。
(7月：台風6号により9時間、10月：豪雨により6.5時間)

【整備効果】

- 中村宿毛道路(平田IC～宿毛IC)の整備に伴い、現道に点在する冠水危険箇所を回避するルートが確保され、第1次緊急輸送道路として信頼性が高く災害に強い道路ネットワークを形成する。

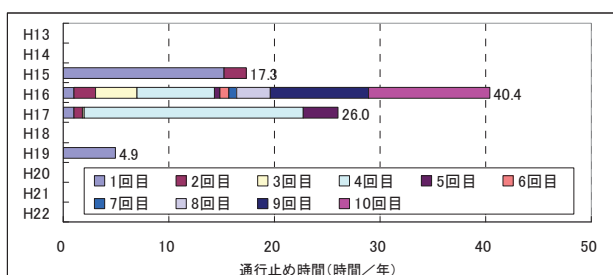
＜異常気象時における緊急輸送ルート＞

【過去10年間の通行止め実績(四万十～平田)】



【過去10年間の通行止め実績(平田～宿毛)】

※未供用のIC名は仮称である



地元の声

- 宿毛市山奈町山田に住んでいるが、台風や大雨の時に、国道56号のうち、平田地区、山奈地区が冠水するため困っている。
～宿毛市役所ヒアリング(H23.2.18実施)より～
- 宿毛市山奈地区は最も低く、冠水しやすい。
～宿毛消防署ヒアリング(H23.2.18実施)より～

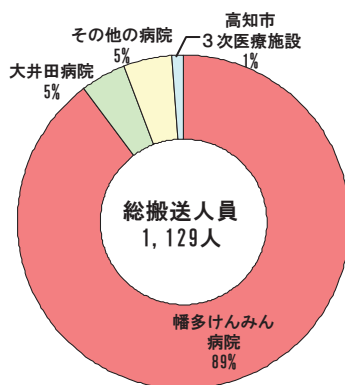
■ 安全で安心できる暮らしの確保

幡多けんみん病院（二次医療施設）へのアクセス向上

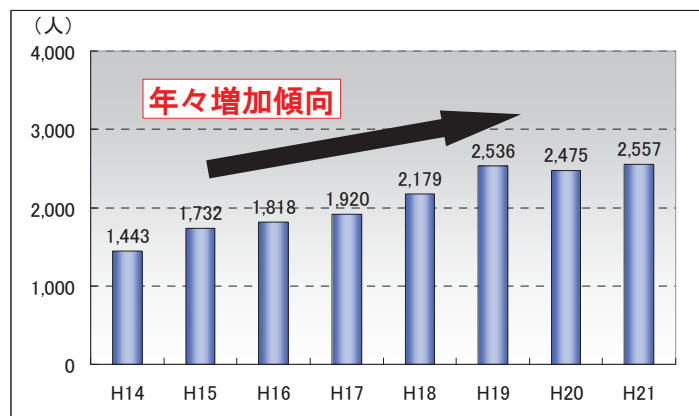
【現状・課題】

- 幡多地域には三次医療施設はなく、高知県立幡多けんみん病院（二次医療施設）が中核医療施設となっている。
- 宿毛市の救命救急搬送の大部分は幡多けんみん病院に搬送されており、幡多けんみん病院に運ばれる救急患者数は年々増加傾向にある。
- 振動・揺れの少ないスムーズな走行は、救急患者の負担を減らし、走行中における救命救命士の処置（救命活動）を行う上で非常に重要である。
- 国道 56 号の現況では、曲がりくねった道路線形や交通混雑によって、救命活動に支障が生じている。
- また、救命救急活動を行うにおいて、消防署から現場や病院に確実に到着・搬送できることが必要不可欠にも関わらず、国道 56 号では冠水が生じる場所があり、救命救急を活動を行う上で信頼性に乏しい。

＜宿毛消防署の病院別搬送人員割合＞



＜幡多けんみん病院に運ばれる救急患者数の推移＞



資料) 「H22 救急統計」 幡多西部消防組合消防本部
H22 年 1～12 月実績値

資料) 幡多けんみん病院提供資料

● 救急救命士等の声

- 国道 56 号は、高規格道路と比べれば、急カーブがあったり、路面に段差があり、振動・揺れがある。救急車のストレッチャー(担架)は狭くて揺れるので、患者さんにとっては負担である。
- 朝・夕方は、平田の工業団地の西側付近で通勤ラッシュ混雑がある。通勤ラッシュ時には、よけてくれる人ばかりではなく、1台でもよけてくれないと無理に追い越すことはできないので、混雑している車と同じ速度になってしまう。
- 平田ICを直進した国道 56 号との交差点(平田地区)は、低い場所なので 3 年前には一番先に冠水(床上浸水)した場所である。大雨の時、冠水の危険がある国道 56 号ではなく迂回(工業団地経由)して幡多けんみん病院に搬送したことがある。

～宿毛消防署ヒアリング(H23.2.18 実施)より～

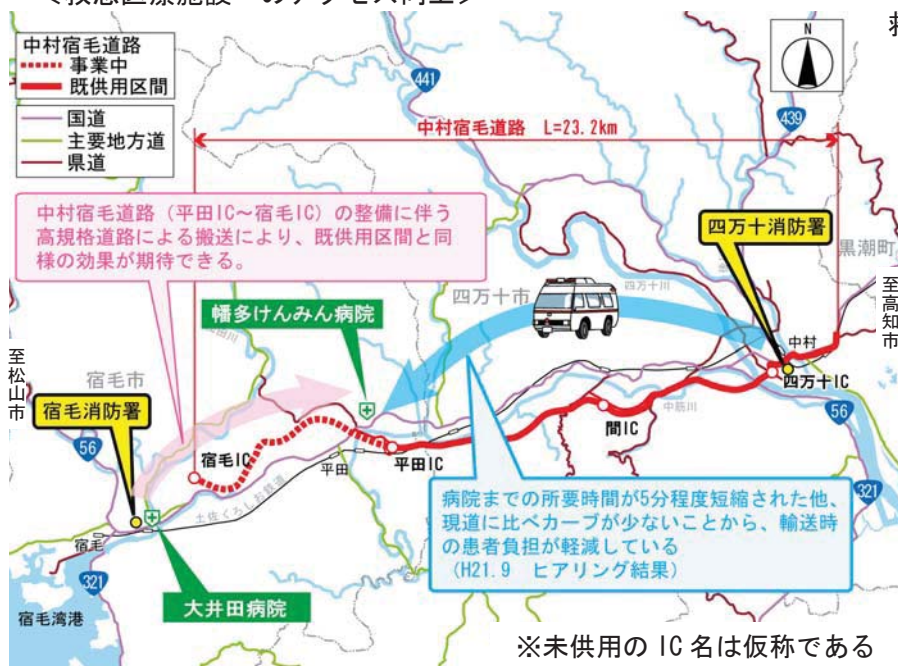
【整備効果】

- 中村宿毛道路（平田 IC～宿毛 IC）の整備に伴う高規格道路による救急搬送により、救命率の向上が期待できる。

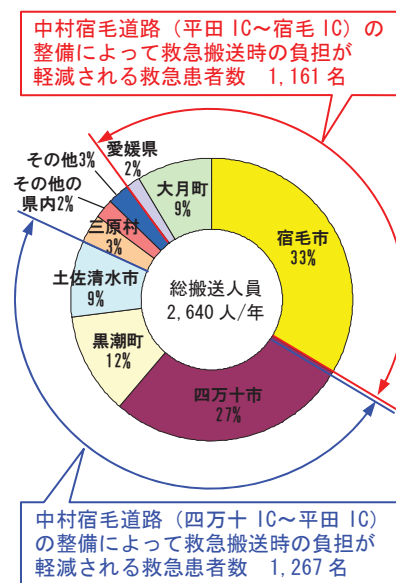
（四万十 IC～平田 IC の供用済み区間においては、病院までの所要時間が短縮された他、現道に比べカーブが少ないことから、輸送時の患者負担が軽減しており、平田 IC～宿毛 IC の整備でも同様の効果が期待される。）

- 二次医療施設カバー圏が拡大し、30 分圏域人口は 15,572 人増加する。
- また、大雨等の異常気象時においても通行止めが生じない搬送ルートが確保されることで、救命救急搬送の信頼性が向上する。

＜救急医療施設へのアクセス向上＞

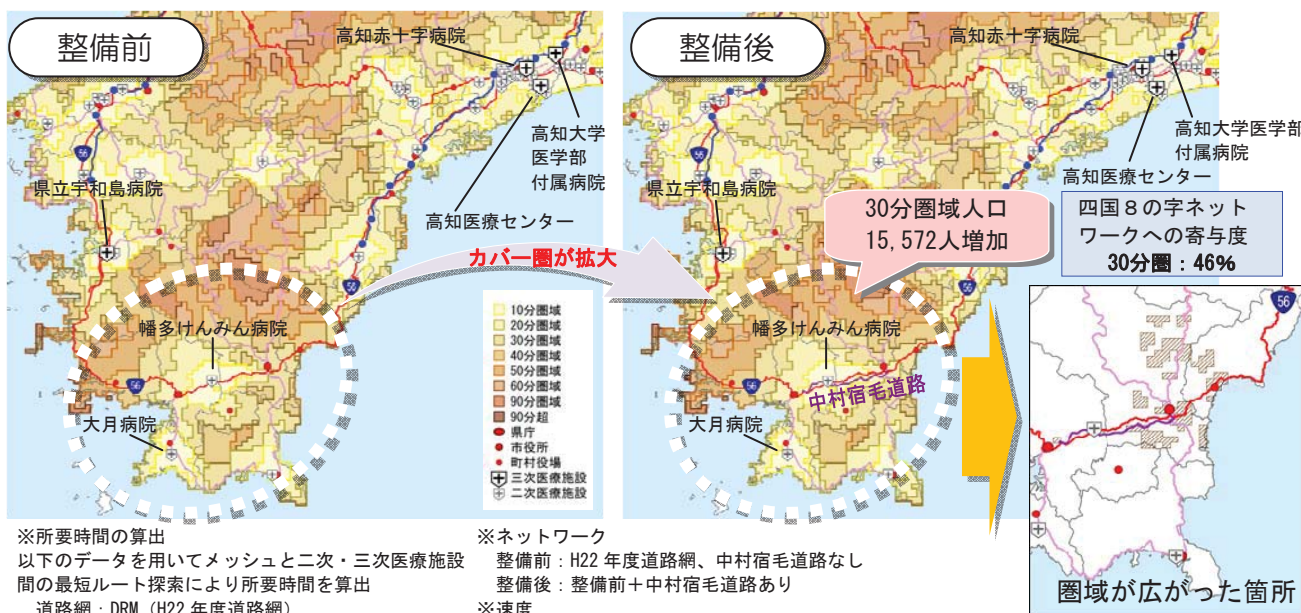


＜中村宿毛道路の整備により救急搬送時の負担が軽減される患者数＞



資料）幡多けんみん病院提供資料
H22 年 1～12 月実績値

＜二次・三次医療施設カバー圏＞



※所要時間の算出
以下のデータを用いてメッシュと二次・三次医療施設間の最短ルート探索により所要時間を算出
道路網：DRM（H22 年度道路網）
速度：H17 道路交通センサス混雑時速度
メッシュ：1 km メッシュ

※人口
H17 国勢調査

※ネットワーク
整備前：H22 年度道路網、中村宿毛道路なし
整備後：整備前＋中村宿毛道路あり

※速度
中村宿毛道路を設計速度に設定。（一般道路部 60km/h 自動車専用道路 80km/h）
ただし、H17 センサス以前に供用した部分は、H17 混雑時速度に設定

寄与度＝当該道路による増分／四国の 8 の字ネットワークによる増分

■ 物流効率化の支援

アクセス性の向上により地域産業（農業・漁業・工業）を支援

【現状・課題】

- 高知県西南地域（宿毛市周辺）は、豊かな自然環境を背景に農業や漁業が盛んであるとともに、高知県西部では唯一工業団地（高知西南中核工業団地、宿毛湾港工業流通団地）が立地している地域である。
- 農水産品は消費地である高知方面や関西方面に主に出荷されている。
- 高知西南中核工場団地は、関西・中部方面（本社のある地域）だけでなく、愛媛県・九州方面（宿毛フェリー）を含めた広範囲に貨物搬送されている。
- このように広範囲に様々な物品や製品が搬送されているにも関わらず、同じ高知県内と比べても西南地域は出荷が一日遅れてしまうなど、地理的ハンディキャップを背負っている。

● 農業関係者の声

- 宿毛では、高知市周辺よりも市場への出荷が1日遅れてしまう。
- 西南地域の農産品は、九州への出荷でも一度、高知市（高知県園芸連）に輸送してから出荷している。
～JA高知はたヒアリング(H23.2.21 実施)より～

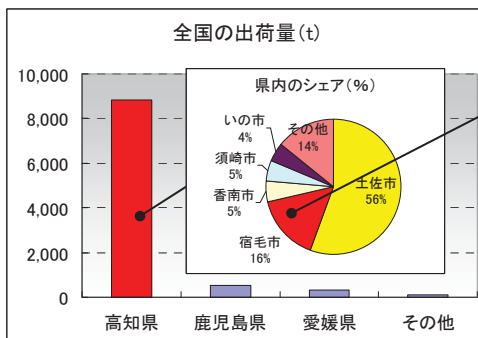
● 漁業関係者の声

- 仲買人は30～40業者あるため、少なく見積もっても1業者につき水槽車と保冷車が1台ずつ高知方面に向かつて搬送していることから、宿毛湾周辺から約30～40台程度が高知方面に向かつて搬送されている。
～すくも湾漁業協同組合ヒアリング(H23.2.10 実施)より～

● 工業関係者（宿毛市役所の声）

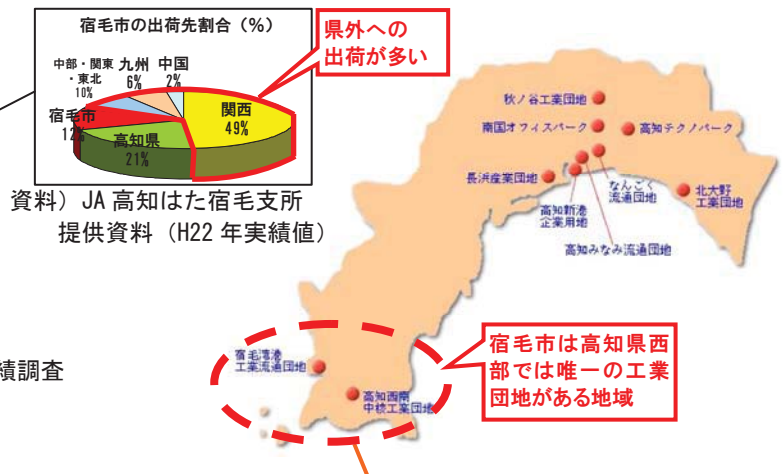
- 工業団地から量は多くないものの、宿毛フェリーを使って九州に向かつて貨物搬送されている。
- 愛媛県の企業との取引がある企業が工業団地内に数社あることから、愛媛県への搬送も見られる。
～宿毛市役所 企画課アヒアリング(H23.2.18 実施)より～

＜文旦の出荷量及び出荷先割合＞

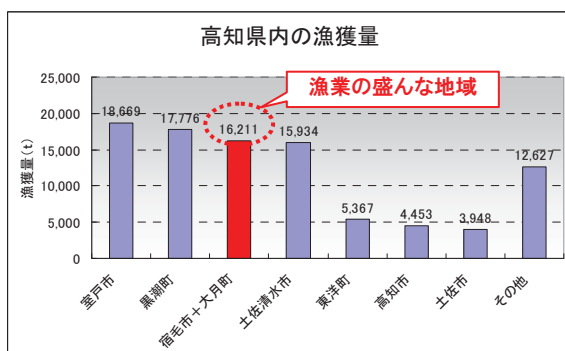


資料）全国シェア：H20 特産果樹生産出荷実績調査
県内シェア：H21 高知県調べ

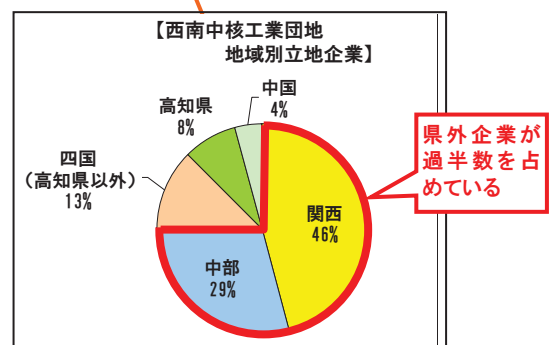
＜高知県内における工業団地の分布＞



＜宿毛湾周辺地域の漁獲量＞



資料）H20 海面漁業生産統計調査

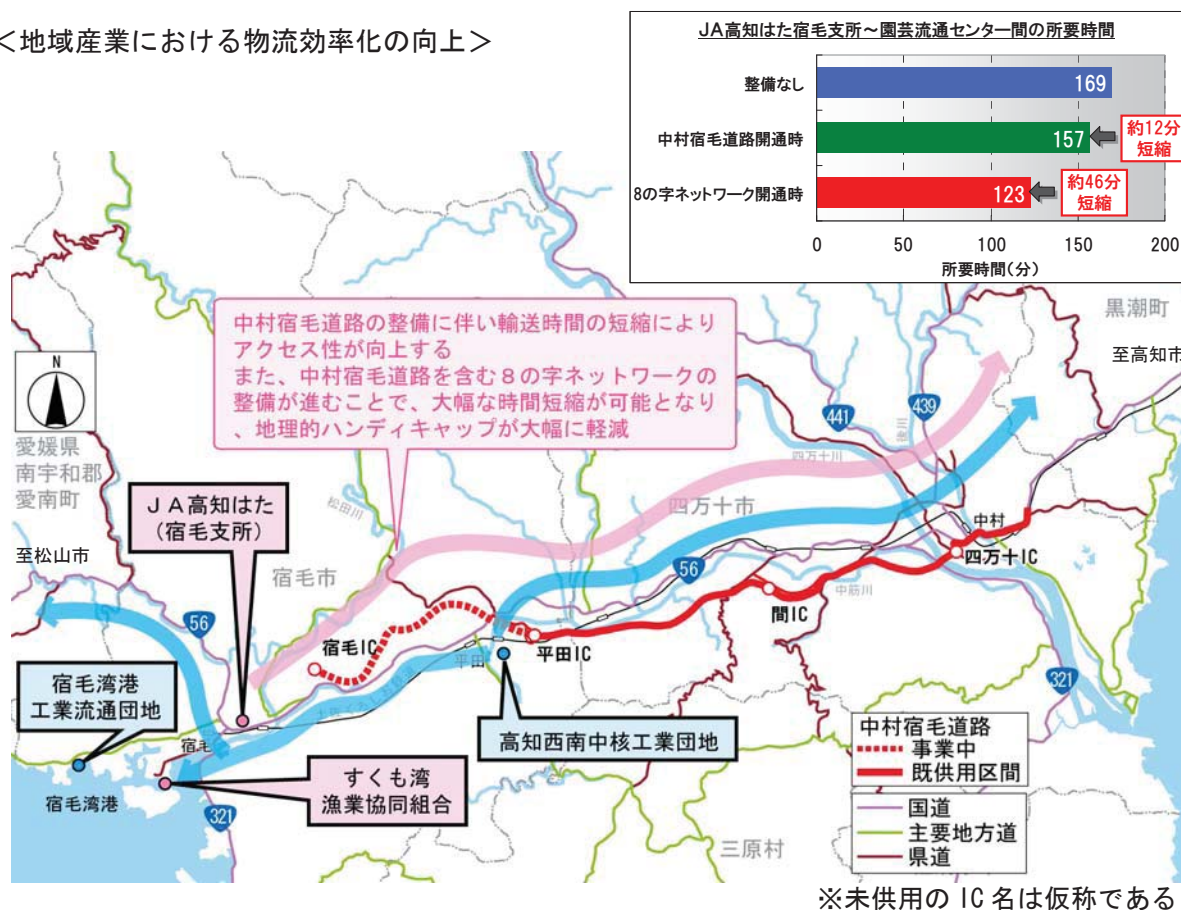


資料）宿毛市役所提供資料

【整備効果】

- 中村宿毛道路の整備に伴い、輸送時間の短縮によりアクセス性が向上することで、地域産業（農業・漁業・工業）を支援する。
- また、中村宿毛道路を含む8の字ネットワークの整備が進むことで、大幅な時間短縮（約46分）が可能となり、地理的ハンディキャップが大幅に軽減する。

＜地域産業における物流効率化の向上＞



●農業関係者の声

- 仮に高知まで高速道路ができて1時間くらい時間短縮できれば、出荷の1日遅れを挽回できる可能性がある。

～JA高知はたヒアリング(H23.2.21 実施)より～

●漁業関係者の声

- わずかな時間短縮(例え1～2分)でも定時性の確保に繋がることから、非常に助かる。

～すくも湾漁業協同組合ヒアリング(H23.2.10 実施)より～

●工業関係者(宿毛市役所の声)

- 高知西南中核工業団地には愛媛県と取引のある会社がある。愛媛県内の企業と取引のある企業にとっては、中村宿毛道路(平田～宿毛間)の整備は、メリットが大きい。

～宿毛市役所 企画課アヒアリング(H23.2.18 実施)より～

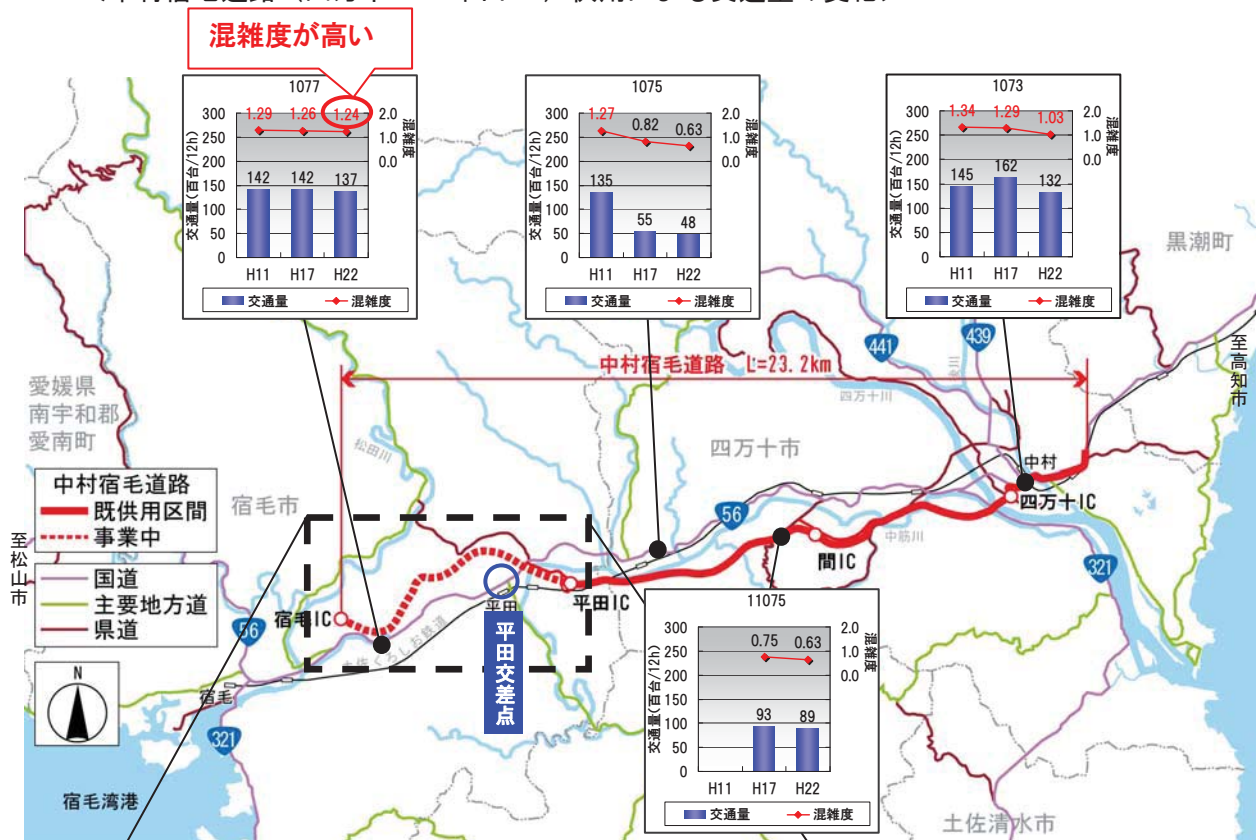
■ 交通渋滞の緩和

バイパスへの交通転換による現道旅行速度の向上や渋滞緩和 時間損失が約 80%削減

【現状・課題】

- 中村宿毛道路（四万十 IC～平田 IC）区間の供用によって現道並行区間では、現道・バイパスともに混雑度が大きく低下したものの、中村宿毛道路が供用していない区間では、依然として混雑度が 1.24 と高い水準である。
- 国道 56 号の平田交差点付近では、旅行速度が 20km/h を下回っており（16.0km/h）、地域の日常生活や社会経済活動に損失を与えている。

<中村宿毛道路（四万十 IC～平田 IC）供用による交通量の変化>



資料) H11 道路交通センサス、H17 道路交通センサス、H22 道路交通センサス、H22 混雑度は H17 時点の交通容量を基に算出

<現道の混雑状況（2009 年 12 月 17 時台下り）>



<平田交差点の混雑状況>

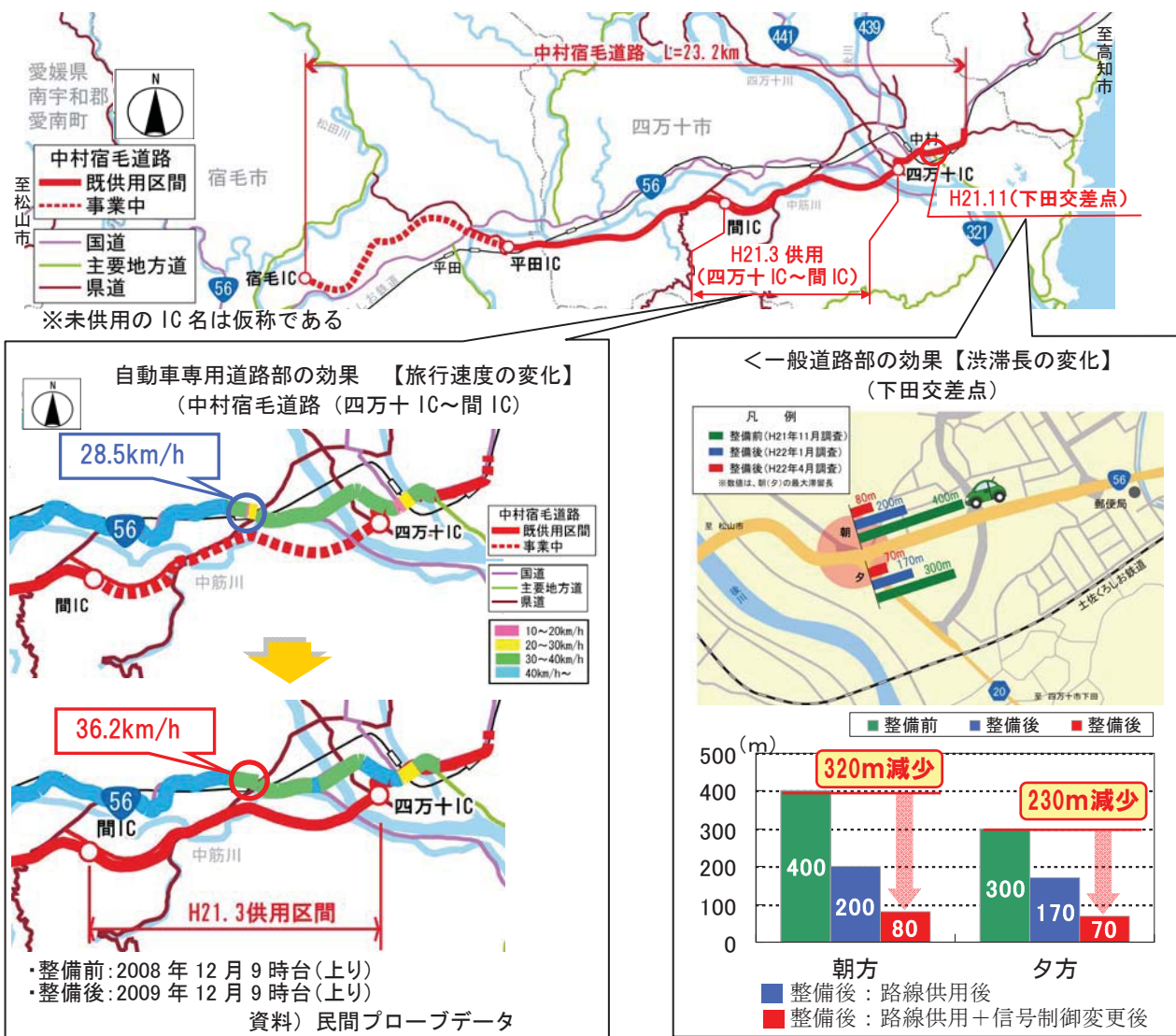


資料) 民間プローブデータ

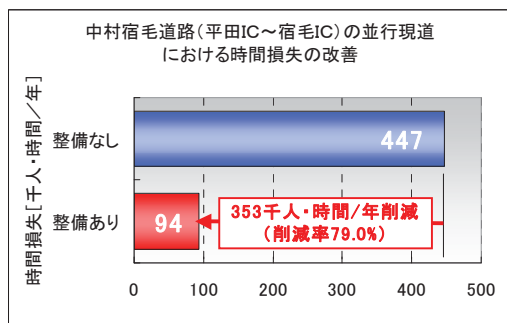
【整備効果】

- 一般道路部では2車線から4車線拡幅による交通容量の増加に伴い、渋滞長が整備前に比べ約80%短く（400m→80m）なっている。
- 自動車専用道路部である中村宿毛道路（四万十IC～間IC間）の供用時には、バイパス整備による交通容量の増加に伴い、並行する国道56号の速度が約8km/h向上している。
- また、中村宿毛道路（平田IC～宿毛IC）の整備に伴う交通円滑化により、現道の時間損失が年間353千人時間削減（削減率：約79%）される。

＜中村宿毛道路の整備に伴う旅行速度、渋滞長の変化＞



＜中村宿毛道路（平田IC～宿毛IC）の整備による時間損失の削減＞



※将来値については、平成17年度道路交通センサスに基づく平成42年将来交通量推計結果を用いた試算値である。

★「自動車交通の時間損失」の考え方

自由に走行できる状態を基準に、余計にかかる時間を損失時間として、道路のサービスレベルを定量的に評価するもの

すいている時

基準所要時間

「自由走行速度」※による所要時間

総所要時間

混雑している時

基準所要時間

損失時間

※自由走行速度：渋滞がなく、自由に走行できるときの速度

渋滞などによる「交通の遅れ」で失われた時間

■ 自動車からのCO₂、NO₂、SPM排出量削減

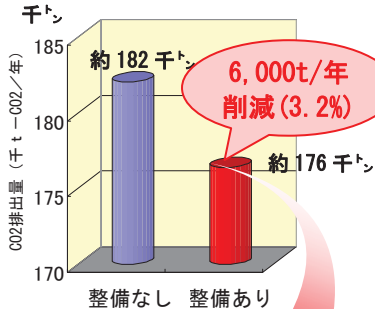
CO₂、NO₂、SPMの排出量削減

【整備効果】

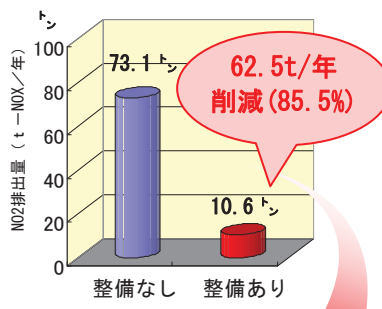
- 中村宿毛道路の整備により、周辺道路の旅行速度が向上する見込みであることから、CO₂、NO₂、SPMの削減が期待できる。

＜中村宿毛道路の供用による交通量の変化＞

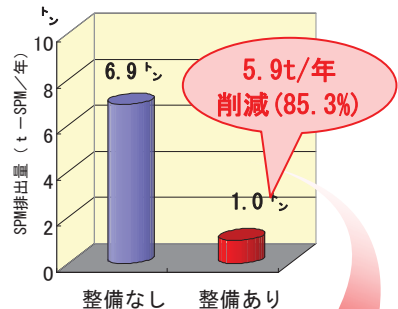
●CO₂排出量の変化



●NO₂排出量の変化



●SPM排出量の変化



※1 森林吸収量 10.6 t / ha
満濃池の面積
140ha で計算



※2 大型車が 40 km/h で走行した
場合の排出係数 (4.4g/km
地球 1 周 4 万 km) で計算

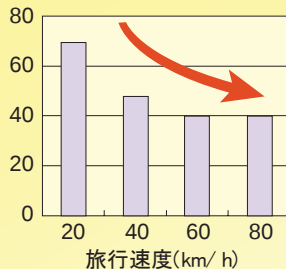


※3 500ml ペットボトル 1 本は
SPM100 g として換算

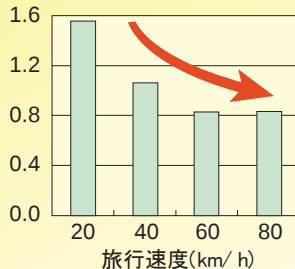
※) 平成 17 年度道路交通センサスに基づく平成 42 年
将来交通量推計結果を用いて算出した試算値

●走行速度と排出ガスの関係

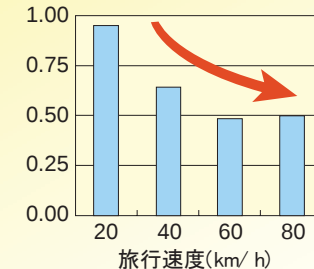
CO₂排出量(g-C/ km)



NOx排出量(g/ km)



SPM排出量(g/ km)



※ 国土交通省道路局 HP 2001 資料「日本の道路」より



自動車から排出される有害物質の量は、自動車の走行速度と密接な関係があります。

走行速度が低い場合（渋滞など）には、上記グラフのように排出量が多く、周辺環境に大きな影響を及ぼすことになります。

走行速度が上がるとこの量は少なくなり、ある一定の速度になるまで低下する傾向にあります。

3.1.3. 事業採択時より再評価実施までの周辺環境の変化等

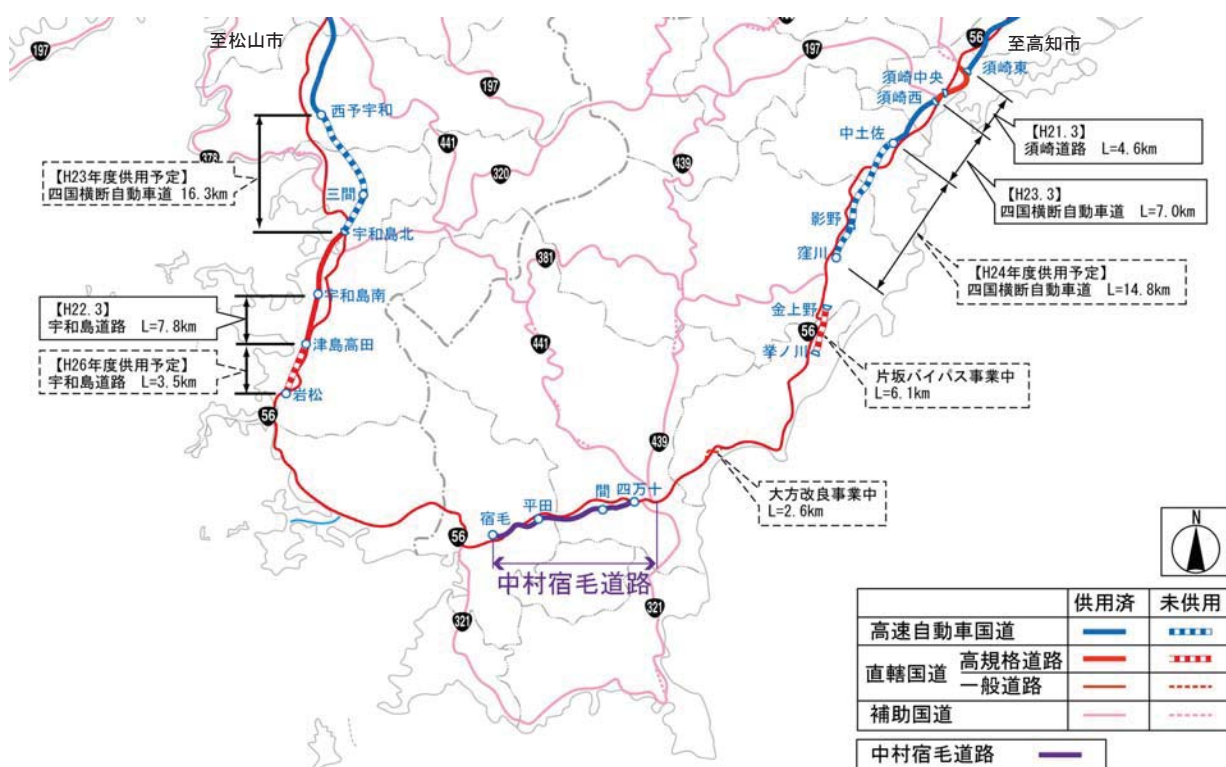
■ 周辺道路の供用

- ・平成 21 年 3 月 須崎道路 L=4.6km 2 車線 供用
- ・平成 22 年 3 月 宇和島道路（津島高田 IC～宇和島南 IC）L=7.8km 2 車線供用
- ・平成 22 年 6 月～平成 23 年 3 月 高速道路無料化社会実験（高知 IC～須崎東 IC）実施
- ・平成 23 年 3 月 四国横断自動車道（中土佐 IC～須崎西 IC）L=7.0km 2 車線供用

■ 大規模小売店の出店状況

- ・平成 22 年 7 月 マルナカ四万十店（13,000m²）

<中村宿毛道路周辺における環境の変化>



※未供用の IC 名は仮称である

<四国 8 の字ネットワーク 供用予定路線>

供用予定年	供用区間
平成 23 年度	四国横断自動車道（宇和島北 IC～西予宇和 IC）L=16.3km 暫定 2 車線供用予定
平成 24 年度	四国横断自動車道（中土佐 IC～窪川 IC）L=14.8km 暫定 2 車線供用予定
平成 26 年度	宇和島道路（岩松 IC～津島高田 IC） L=3.5km 暫定 2 車線供用予定

3.2. 事業の投資効果

3.2.1. 事業の投資効果

- 全事業、残事業とも費用便益分析比は 1.0 を上回っている。
- 救急医療アクセス向上による救命率の向上、リダンダンシーの確保による災害時の安心向上、アクセス向上による地域の産業活動の支援など、多様な整備効果が期待できる。

■ 3 便益による費用便益比

項目			事業全体	残事業	
費用(C)			1,658 億円	165 億円	
			事業費	1,607 億円	142 億円
			維持管理費	51 億円	22 億円
便益(B)			2,016 億円	193 億円	
3 便 益	走行時間短縮便益		1,811 億円	180 億円	
	走行経費減少便益		144 億円	5 億円	
	交通事故減少便益		61 億円	9 億円	
費用便益比(B/C)			1.2	1.2	
経済的純現在価値(ENPV)			357 億円	28 億円	
経済的内部収益率(EIRR)			4.6%	5.0%	

※) 費用及び便益額の値は、基準年（H23）における現在価値を表す。

■ その他効果

<医療>

○高規格道路による緊急搬送により、患者の負担軽減、運転手の負担軽減

- 緊急搬送時に負担が軽減される救急患者数約 2,400 人

<防災>

○リダンダンシーの確保により、災害時の安心向上、救援の迅速化

- 冠水箇所をすべて回避（冠水箇所 4 箇所→0 箇所）

<産業>

○高知県西南地域から高知市へのアクセス向上により、地域の産業活動を支援

- 高知市までの所要時間が約 12 分短縮

<環境>

- CO₂排出量が約 6,000 t / 年、NO₂排出量が約 63 t / 年、SPM排出量が約 6 t / 年削減されるなど、環境の改善に貢献

■ 感度分析（3 便益）

○事業全体

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	7,600～ 13,400 台/日	±10%	1.1～1.4
事業費	196 億円	±10%	1.2～1.2
事業期間	18 年	±10%	1.2～1.2

※) 事業費は残事業の単純価値を表す。

※) 上記の交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの。

○残事業

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	7,600～ 13,400 台/日	±10%	1.1～1.3
事業費	196 億円	±10%	1.1～1.3
事業期間	18 年	±10%	1.2～1.2

※) 事業費は残事業の単純価値を表す。

※) 上記の交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの。

3.2.2. 前回評価時からの事業計画の変化

<費用便益比（B／C）の変化（事業全体での比較）>

項目	前回再評価時 (平成 20 年度)	今回再評価時 (平成 23 年度)	前回評価時からの変化要因
総費用 (C)	1,489 億円 [1,320 億円]	1,658 億円 [1,320 億円]	・基準年の見直しにより増加
総便益 (B)	2,295 億円	2,016 億円	・H22 交通需要推計の見直しにより減少 ・基準年の見直しにより増加
費用便益比 (B/C)	1.5	1.2	

※) 上記の総費用及び総便益の数値は基準年における現在価値を表す。

※) []内は現在価値化前の事業費を示す。

3.3. 事業の進捗状況

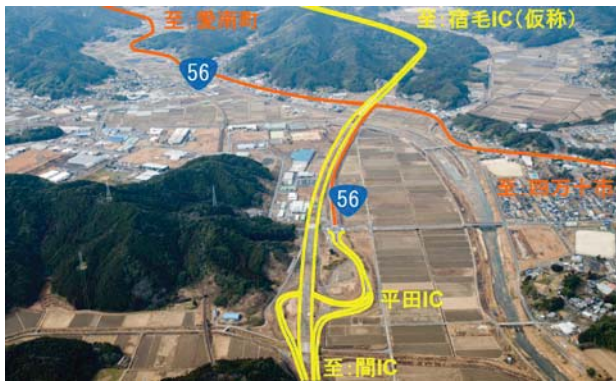


※未供用の IC 名は仮称である

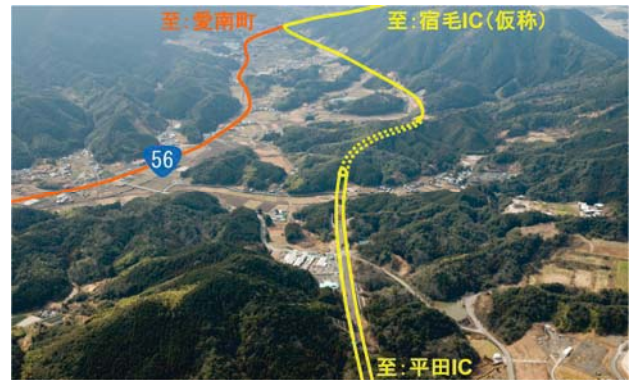
工 区	21 工区	20-2 工区	20-1 工区	19 工区
	平田 IC～宿毛市 和田(宿毛 IC)	間 IC～平田 IC	四万十 IC～間 IC	四万十市古津賀 ～四万十 IC
延 長	7.6km	7.0km	6.1km	2.5km
現 状	道路設計・用地 買収・工事推進中	本線・側道ともに 工事完了	本線・側道ともに 工事完了	本線・側道ともに 工事完了
用地取得状況 (H22 年度末時点)	約 75%	100%	100%	100%
全体進捗率 (事業費ベース)	約 84%			

■ 進捗状況写真

①21 工区施工状況(平田地区)



②21 工区施工状況(寺山地区)



③21 工区施工状況(押ノ川地区)



④21 工区施工状況(和田地区)



※未供用の IC 名は仮称である

⑤施工状況(平田地区)

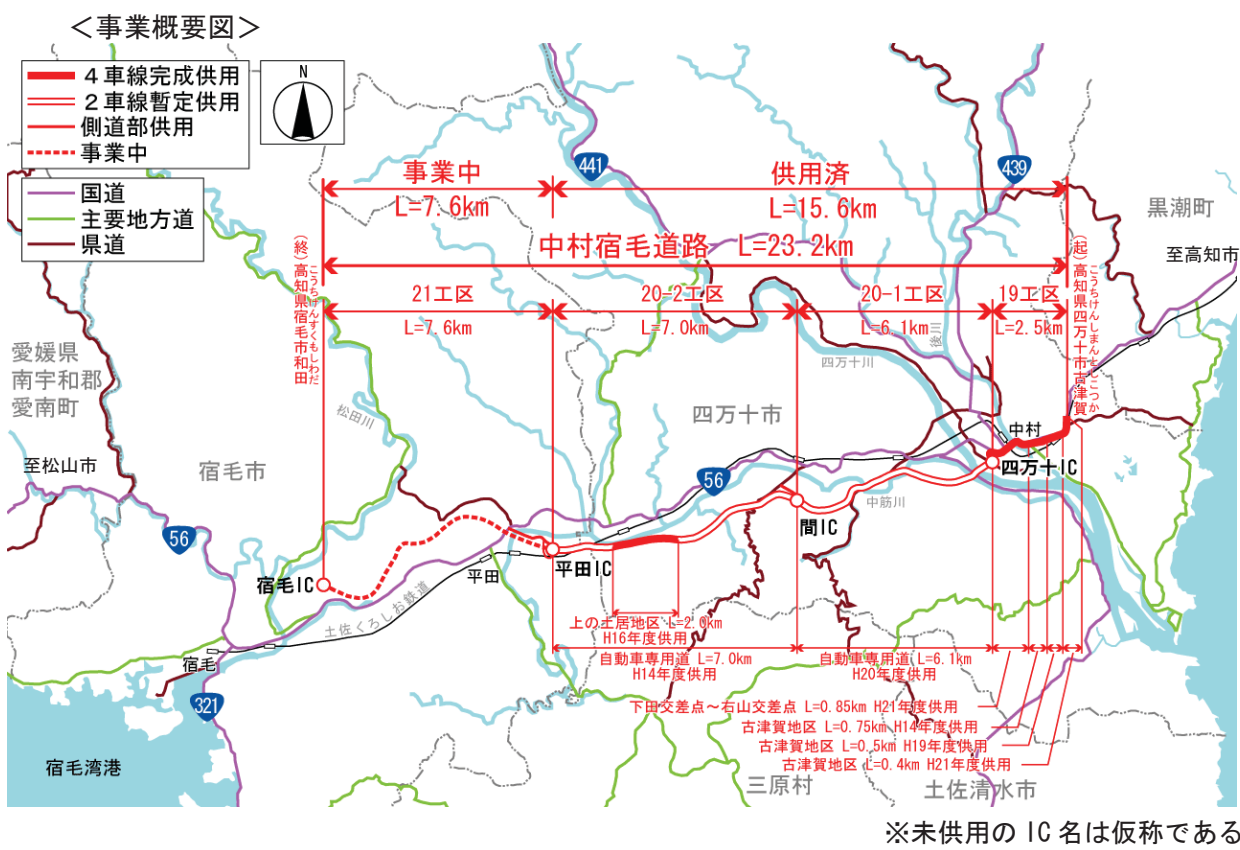


⑥施工状況(押ノ川地区)



4. 事業の進捗見込みの視点

- 未供用区間である平田 IC～宿毛市和田（宿毛 IC）区間では用地取得率が約 75%となっており、早期供用に向け事業を推進している。



工 区	21 工区	20-2 工区	20-1 工区	19 工区
	平田 IC～宿毛市 和田(宿毛 IC)	間 IC～平田 IC	四万十 IC～間 IC	四万十市古津賀 ～四万十 IC
今後の予定	用地買収 ・工事推進	供用中 (2/4 車線)	供用中 (2/4 車線)	供用中 (4/4 車線)

5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

5.1. コスト縮減

■ 今後のコスト縮減に対する取り組み

- 今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

5.2. 代替案立案等の可能性

- 中村宿毛道路の計画は、地形条件・周辺土地利用状況を勘案し、地形分断や家屋・農地等への影響を最小限に留めた計画であり、また、起点側は供用中、終点側は 75%の用地取得状況であることから代替案立案の可能性はない。

6. 地方公共団体等からの要望

- 周辺の自治体などから本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている。

<中村宿毛道路の整備促進に関する最近の要望活動について>

年月日	内 容	団体名
平成 20 年 10 月	要望活動	一般国道 56 号バイパス建設促進期成同盟会
平成 20 年 11 月	要望活動	四国西南地域道路整備促進議会
平成 22 年 10 月	要望活動	四国西南地域市議会議長懇親会
平成 22 年 10 月	要望活動	四国横断自動車道高知県建設促進期成会
平成 23 年 2 月	要望活動	四国西南地域道路整備促進協議会
平成 23 年 9 月	要望活動	四国横断自動車道高知県建設促進期成会

7. 対応方針(原案)

①再評価の視点

(1) 事業の必要性に関する視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

【事業を巡る社会情勢等の変化】

- 沿線市町村の人口は減少傾向、自動車保有台数はほぼ横ばいと自動車依存が高い
- 高速ネットワークの空白地
- 東南海・南海地震の発生が危惧される中、緊急輸送路及び代替ルート確保が急務
- 冠水箇所が点在し、緊急輸送道路として十分に機能していない
- 救急搬送時における搬送時間、交通安全面で課題あり
- 地域産業の物流における定時性に課題あり
- 慢性的な交通渋滞が発生

【事業の効果や必要性】

- 高速ネットワークの形成に寄与
- 東南海・南海地震時における救援ルートの信頼性ならびに速達性が向上
- 異常気象時における緊急輸送ネットワークの信頼性が向上
- 第二次医療施設へのアクセス向上
- アクセス性の向上により地域産業
- 交通渋滞の緩和

2) 事業の投資効果

- 費用便益比（B／C） 事業全体：1.2 残事業：1.2

■その他効果

救急医療アクセス向上による救命率の向上、リダンダンシーの確保による災害時の安心向上、アクセス向上による地域の産業活動の支援など、多様な整備効果が期待できる

3) 事業の進捗状況

- 四万十市古津賀～平田 IC（15.6km）の用地取得率は100%
- 平田 IC～宿毛市和田（宿毛 IC）（7.6km）の用地進捗率は約75%
- 事業全体の進捗率は約84%（平成22年度末）

(2) 事業進捗の見込みの視点

【事業進捗の見込み】

- 未供用区間である平田 IC～宿毛市和田（宿毛 IC）区間では用地取得率が約 75%となっており、早期供用に向け事業を推進している。

(3) コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

【コスト縮減や代替案立案等の可能性】

- 今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。
- 中村宿毛道路の計画は、地形条件・周辺土地利用状況を勘案し、地形分断や家屋・農地等への影響を最小限に留めた計画であり、また、起点側は供用中、終点側は 75%の用地取得状況であることから代替案立案の可能性はない。

②地方公共団体の意見

【高知県知事意見】

事業継続に異議はありません。一般国道 56 号中村宿毛道路は、南海地震などの大規模災害時に、「命の道」となる四国 8 の字ネットワークを構成し、高知県西南地域の発展に重要な役割を果たす路線であることから、早期の供用を目指し、より一層の事業進捗をお願いします。



【今後の対応方針（原案）】

以上のことから、中村宿毛道路の事業を継続する

県への意見照会と回答

国四整企画第38号

平成23年10月11日

高知県知事 殿

四国地方整備局長



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

平素より国土交通省直轄事業の推進にあたり、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、四国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年10月31日に第3回委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年10月24日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

四国地方整備局 企画部 企画課 企画第一係

電話 087-811-8308

FAX 087-811-8408

(再評価)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
仁淀川直轄河川改修事業	継続	
四万十川直轄河川改修事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、四国地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
四国横断自動車道 阿南四万十線 須崎新荘～窪川	継続	
一般国道56号 中村宿毛道路	継続	
一般国道33号 高知西バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、四国地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。



23 高土企第 129 号
平成 23 年 10 月 20 日

四国地方整備局長 様

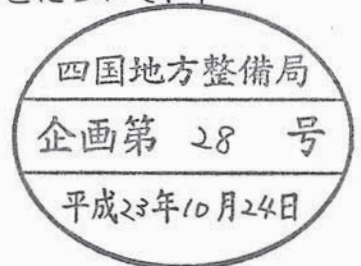
高知県知事



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成 23 年 10 月 11 日付け国四整企画第 38 号で照会のありましたことについて、下記のとおり回答します。

記



1. 仁淀川直轄河川改修事業

意見：事業継続に異議はありません。流域住民の安全・安心の確保のため、より一層の事業推進をお願いします。

2. 四万十川直轄河川改修事業

意見：事業継続に異議はありません。流域住民の安全・安心の確保のため、より一層の事業推進をお願いします。

3. 四国横断自動車道 阿南四万十線 須崎新荘～窪川

意見：事業継続に異議はありません。四国横断自動車道は、南海地震などの大規模災害時に、「命の道」となる四国 8 の字ネットワークを構成し、高知県西南地域の発展に重要な役割を果たす路線であることから、早期の供用を目指し、より一層の事業進捗をお願いします。

4. 一般国道 56 号 中村宿毛道路

意見：事業継続に異議はありません。一般国道 56 号中村宿毛道路は、南海地震などの大規模災害時に、「命の道」となる四国 8 の字ネットワークを構成し、高知県西南地域の発展に重要な役割を果たす路線であることから、早期の供用を目指し、より一層の事業進捗をお願いします。

5. 一般国道 33 号 高知西バイパス

意見：事業継続に異議はありません。一般国道 33 号高知西バイパスは、市街地の交通混雑を解消し、交通安全の確保や都市間のアクセス性の向上につながる、住民の日常生活に直結する重要な路線であることから、早期の供用を目指し、より一層の事業進捗をお願いします。

費用便益比算出資料

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道５６号	中村宿毛道路	L＝２３．２ｋｍ	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,600～13,400	4, 2車線	四国地方整備局

上記の計画交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの。

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成２３年度		
単純合計	1,261億円	101億円	1,362億円
うち残事業分	196億円	83億円	279億円
基準年における 現在価値（Ｃ）	1,607億円	51億円	1,658億円
うち残事業分	142億円	22億円	165億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成２３年度			
供 用 年	平成１５，２２，３３年度（暫定）、平成４２年度（完成）			
単年便益 (初年便益)	16億円	2.0億円	1.2億円	19億円
基準年における 現在価値（Ｂ）	1,811億円	144億円	61億円	2,016億円
うち残事業分	180億円	4.6億円	8.6億円	193億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	357億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.6%
費用便益比（残事業）	1.2
経済的純現在価値（残事業）	28億円
経済的内部収益率（残事業）	5.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （全事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	7,600～13,400	±10%	1.1～1.4
事業費	196億円	±10%	1.2～1.2
事業期間	18年	±10%	1.2～1.2

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	7,600～13,400	±10%	1.1～1.3
事業費	196億円	±10%	1.1～1.3
事業期間	18年	±10%	1.2～1.2

交通状況の変化

事業名：中村宿毛道路

【全事業】

(推計時点 H42年)

				整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 [バイパス等] : 23. 2km		交通量※ ¹	[台/日]	18, 400	11, 900
		走行時間※ ²	[分]	15	19
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	48	41
②主な周 辺道路	国道56号（並 行区間） : 21. 2km	交通量	[台/日]	12, 600	2, 800
		走行時間	[分]	44	30
		走行時間費用	[億円/年]	98	15
	国道56号（並 行区間以外） : 44. 2km	交通量	[台/日]	6, 000	6, 100
		走行時間	[分]	76	76
		走行時間費用	[億円/年]	83	86
	国道321号 : 79. 7km	交通量	[台/日]	3, 700	3, 600
		走行時間	[分]	122	122
		走行時間費用	[億円/年]	81	78
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他 道路合計 921. 0km		走行時間費用	[億円/年]	316	323

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1089. 3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	625	543	83

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：中村宿毛道路

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



交通状況の変化

事業名：中村宿毛道路

【残事業】

(推計時点 H42年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 23.2km		交通量※ ¹	[台/日]	13,200	11,900
		走行時間※ ²	[分]	17	19
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	39	41
②主な周 辺道路	国道56号（並 行区間） : 21.2km	交通量	[台/日]	5,300	2,800
		走行時間	[分]	33	30
		走行時間費用	[億円/年]	33	15
	国道56号（並 行区間以外） : 44.2km	交通量	[台/日]	6,100	6,100
		走行時間	[分]	76	76
		走行時間費用	[億円/年]	85.3	85.7
	国道321号 : 79.7km	交通量	[台/日]	3,600	3,600
		走行時間	[分]	122	122
		走行時間費用	[億円/年]	78.7	78.3
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他 道路合計 921.0km		走行時間費用	[億円/年]	322	323

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1089.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	558	543	15

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：中村宿毛道路

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



費用便益分析の条件

事業名：中村宿毛道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月28日「費用便益マニュアル(案)」)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成23年度		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
	開発交通量の考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		☐		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載		☐	
	最終配分の速度 採用理由を記載		☒	
	対象路線における実際の交通状況を概ね反映しているため			
	その他()		☐	

(3)

便益の算定

事業名:中村宿毛道路

(4)

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☒
		標準投資パターンを採用	☐
		その他(供用までの残事業費を等配分)	☐
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 中村河川国道事務所の実績値より設定	
		雪寒費	積雪地域または寒冷地域である
	その他		
4. その他 上記のほか、B/Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。 			

費用の現在価値算定表【全事業】

維持管理費の単価単価の算出

箇所名：一般国道56号 中村宿毛道路

年次	年度	割戻率 (基準年：23)	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	単価(億円)
				0.11	23.2	2.55	
				単価(億円)	現在価値	単価(億円)	現在価値
－25年目	S 53	3.6484	73.7	1.00	4.46		
－24年目	S 54	3.5081	75.6	2.00	8.35		
－23年目	S 55	3.3731	80.4	1.00	3.78		
－22年目	S 56	3.2434	83.2	1.00	3.51		
－21年目	S 57	3.1187	85.0	1.00	3.30		
－20年目	S 58	2.9987	87.1	2.00	6.20		
－19年目	S 59	2.8834	89.8	2.00	5.78		
－18年目	S 60	2.7725	91.8	0.00	0.00		
－17年目	S 61	2.6658	93.1	0.00	0.00		
－16年目	S 62	2.5633	93.3	0.00	0.00		
－15年目	S 63	2.4647	94.0	3.00	7.08		
－14年目	H 1	2.3699	96.7	4.85	10.71		
－13年目	H 2	2.2788	99.1	17.48	36.17		
－12年目	H 3	2.1911	101.8	65.05	126.01		
－11年目	H 4	2.1068	103.1	1.94	3.57		
－10年目	H 5	2.0258	103.5	2.91	5.13		
－9年目	H 6	1.9479	103.4	30.10	51.03		
－8年目	H 7	1.8730	102.8	18.45	30.25		
－7年目	H 8	1.8009	102.3	20.39	32.30		
－6年目	H 9	1.7317	103.3	28.57	43.11		
－5年目	H 10	1.6651	102.8	55.24	80.52		
－4年目	H 11	1.6010	101.3	84.76	120.57		
－3年目	H 12	1.5395	99.7	72.38	100.59		
－2年目	H 13	1.4802	98.4	86.67	117.33		
－1年目	H 14	1.4233	96.6	87.62	116.19		
供用開始年次	H 15	1.3686	95.4	70.48	90.99	0.63	0.8
1年目	H 16	1.3159	94.4	63.81	80.05	0.63	0.8
2年目	H 17	1.2653	93.2	79.05	96.58	0.63	0.8
3年目	H 18	1.2167	92.5	87.62	103.72	0.63	0.8
4年目	H 19	1.1699	91.7	72.38	83.11	0.63	0.7
5年目	H 20	1.1249	91.2	45.71	50.75	0.63	0.7
6年目	H 21	1.0816	90.0	22.86	24.72	0.63	0.7
7年目	H 22	1.0400	90.0	20.95	21.79	1.56	1.6
8年目	H 23	1.0000	90.0	12.38	12.38	1.56	1.6
9年目	H 24	0.9615	90.0	14.29	13.74	1.56	1.5
10年目	H 25	0.9246	90.0	8.57	7.93	1.56	1.5
11年目	H 26	0.8890	90.0	10.48	9.31	1.56	1.4
12年目	H 27	0.8548	90.0	10.48	8.96	1.56	1.4
13年目	H 28	0.8219	90.0	10.48	8.61	1.56	1.3
14年目	H 29	0.7903	90.0	20.95	16.56	1.56	1.2
15年目	H 30	0.7599	90.0	3.81	2.89	1.56	1.2
16年目	H 31	0.7307	90.0	24.76	18.09	1.56	1.2
17年目	H 32	0.7026	90.0	20.95	14.72	1.56	1.1
18年目	H 33	0.6756	90.0	12.38	8.36	2.32	1.6
19年目	H 34	0.6496	90.0	10.48	6.81	2.32	1.5
20年目	H 35	0.6246	90.0	8.57	5.35	2.32	1.5
21年目	H 36	0.6006	90.0	5.71	3.43	2.32	1.4
22年目	H 37	0.5775	90.0	3.81	2.20	2.32	1.4
23年目	H 38	0.5553	90.0	7.62	4.23	2.32	1.3
24年目	H 39	0.5339	90.0	9.52	5.08	2.32	1.3
25年目	H 40	0.5134	90.0	10.48	5.38	2.32	1.2
26年目	H 41	0.4936	90.0	2.86	1.41	2.32	1.2
27年目	H 42	0.4746	90.0			2.55	1.2
28年目	H 43	0.4564	90.0			2.55	1.2
29年目	H 44	0.4388	90.0			2.55	1.1
30年目	H 45	0.4220	90.0			2.55	1.1
31年目	H 46	0.4057	90.0			2.55	1.0
32年目	H 47	0.3901	90.0			2.55	1.0
33年目	H 48	0.3751	90.0			2.55	1.0
34年目	H 49	0.3607	90.0			2.55	0.9
35年目	H 50	0.3468	90.0			2.55	0.9
36年目	H 51	0.3335	90.0			2.55	0.9
37年目	H 52	0.3207	90.0			2.55	0.8
38年目	H 53	0.3083	90.0			2.55	0.8
39年目	H 54	0.2965	90.0			2.55	0.8
40年目	H 55	0.2851	90.0			2.55	0.7
41年目	H 56	0.2741	90.0			2.55	0.7
42年目	H 57	0.2636	90.0			2.55	0.7
43年目	H 58	0.2534	90.0			2.55	0.6
44年目	H 59	0.2437	90.0			2.55	0.6
45年目	H 60	0.2343	90.0			2.55	0.6
46年目	H 61	0.2253	90.0			2.55	0.6
47年目	H 62	0.2166	90.0			2.55	0.6
48年目	H 63	0.2083	90.0			2.55	0.5
49年目	H 64	0.2003	90.0	-80.00	-16.02	2.55	0.5
合 計				1,181	1,607	101	51
単純事業費計				1,261		101	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表【残事業】

維持管理費の単価単価の算出

箇所名：一般国道56号 中村宿毛道路

				単価(億円)		延長(km)	単価(億円)	
				0.09		20.7	1.86	
年次	年度	割引率 (基準年:23)	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	
-9年目	H 24	0.9615	90.0	14.3	13.74			
-8年目	H 25	0.9246	90.0	8.57	7.93			
-7年目	H 26	0.8890	90.0	10.48	9.31			
-6年目	H 27	0.8548	90.0	10.48	8.96			
-5年目	H 28	0.8219	90.0	10.48	8.61			
-4年目	H 29	0.7903	90.0	20.95	16.56			
-3年目	H 30	0.7599	90.0	3.81	2.89			
-2年目	H 31	0.7307	90.0	24.76	18.09			
-1年目	H 32	0.7026	90.0	20.95	14.72			
供用開始年次	H 33	0.6756	90.0	12.38	8.36	0.76	0.5	
1年目	H 34	0.6496	90.0	10.48	6.81	0.76	0.5	
2年目	H 35	0.6246	90.0	8.57	5.35	0.76	0.5	
3年目	H 36	0.6006	90.0	5.71	3.43	0.76	0.5	
4年目	H 37	0.5775	90.0	3.81	2.20	0.76	0.4	
5年目	H 38	0.5553	90.0	7.62	4.23	0.76	0.4	
6年目	H 39	0.5339	90.0	9.52	5.08	0.76	0.4	
7年目	H 40	0.5134	90.0	10.48	5.38	0.76	0.4	
8年目	H 41	0.4936	90.0	2.86	1.41	0.76	0.4	
9年目	H 42	0.4746	90.0			1.86	0.9	
10年目	H 43	0.4564	90.0			1.86	0.9	
11年目	H 44	0.4388	90.0			1.86	0.8	
12年目	H 45	0.4220	90.0			1.86	0.8	
13年目	H 46	0.4057	90.0			1.86	0.8	
14年目	H 47	0.3901	90.0			1.86	0.7	
15年目	H 48	0.3751	90.0			1.86	0.7	
16年目	H 49	0.3607	90.0			1.86	0.7	
17年目	H 50	0.3468	90.0			1.86	0.6	
18年目	H 51	0.3335	90.0			1.86	0.6	
19年目	H 52	0.3207	90.0			1.86	0.6	
20年目	H 53	0.3083	90.0			1.86	0.6	
21年目	H 54	0.2965	90.0			1.86	0.6	
22年目	H 55	0.2851	90.0			1.86	0.5	
23年目	H 56	0.2741	90.0			1.86	0.5	
24年目	H 57	0.2636	90.0			1.86	0.5	
25年目	H 58	0.2534	90.0			1.86	0.5	
26年目	H 59	0.2437	90.0			1.86	0.5	
27年目	H 60	0.2343	90.0			1.86	0.4	
28年目	H 61	0.2253	90.0			1.86	0.4	
29年目	H 62	0.2166	90.0			1.86	0.4	
30年目	H 63	0.2083	90.0			1.86	0.4	
31年目	H 64	0.2003	90.0			1.86	0.4	
32年目	H 65	0.1926	90.0			1.86	0.4	
33年目	H 66	0.1852	90.0			1.86	0.3	
34年目	H 67	0.1780	90.0			1.86	0.3	
35年目	H 68	0.1712	90.0			1.86	0.3	
36年目	H 69	0.1646	90.0			1.86	0.3	
37年目	H 70	0.1583	90.0			1.86	0.3	
38年目	H 71	0.1522	90.0			1.86	0.3	
39年目	H 72	0.1463	90.0			1.86	0.3	
40年目	H 73	0.1407	90.0			1.86	0.3	
41年目	H 74	0.1353	90.0			1.86	0.3	
42年目	H 75	0.1301	90.0			1.86	0.2	
43年目	H 76	0.1251	90.0			1.86	0.2	
44年目	H 77	0.1203	90.0			1.86	0.2	
45年目	H 78	0.1157	90.0			1.86	0.2	
46年目	H 79	0.1112	90.0			1.86	0.2	
47年目	H 80	0.1069	90.0			1.86	0.2	
48年目	H 81	0.1028	90.0			1.86	0.2	
49年目	H 82	0.0989	90.0	-8.25	-0.82	1.86	0.2	
合 計				188	142	83	22	
単純事業費計				196		83		

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

【全事業】

箇所名：一般国道56号 中村宿毛道路

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物車	普通貨物車	全 車			① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%			
供用開始年次	H 15	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	1.3686	95.4	10.25	4.20	1.74	16.18	20.89	1.35	0.39	0.29	2.03	2.66	1.19	1.56	19.41	25.11
1年目	H 16	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	1.3159	94.4	10.39	4.06	1.77	16.21	20.34	1.37	0.38	0.30	2.05	2.60	1.19	1.50	19.45	24.44
2年目	H 17	1.01358	0.96621	1.02052	1.00085	1.2653	93.2	10.53	3.92	1.81	16.25	19.86	1.38	0.37	0.31	2.06	2.55	1.19	1.46	19.51	23.87
3年目	H 18	0.99410	0.99015	0.99503	0.99323	1.2167	92.5	10.47	3.88	1.80	16.15	19.11	1.38	0.36	0.31	2.04	2.45	1.19	1.40	19.38	22.97
4年目	H 19	0.99407	0.99005	0.99501	0.99318	1.1699	91.7	10.40	3.84	1.79	16.04	18.41	1.37	0.36	0.30	2.03	2.36	1.18	1.35	19.24	22.13
5年目	H 20	0.99403	0.98995	0.99498	0.99314	1.1249	91.2	10.34	3.80	1.78	15.93	17.68	1.36	0.36	0.30	2.02	2.27	1.17	1.32	19.11	21.26
6年目	H 21	0.99399	0.98985	0.99496	0.99309	1.0816	90.0	10.28	3.76	1.77	15.82	17.11	1.35	0.35	0.30	2.00	2.17	1.16	1.26	18.98	20.53
7年目	H 22	0.99396	0.98975	0.99493	0.99304	1.0400	90.0	48.95	20.42	7.65	77.02	80.10	4.49	0.92	0.73	6.14	6.38	2.20	2.29	85.36	88.78
8年目	H 23	0.99392	0.98964	0.99491	0.99299	1.0000	90.0	48.65	20.21	7.62	76.48	76.48	4.46	0.91	0.72	6.10	6.10	2.19	2.19	84.76	84.76
9年目	H 24	0.99388	0.98953	0.99488	0.99294	0.9615	90.0	48.35	20.00	7.58	75.93	73.00	4.43	0.90	0.72	6.06	5.82	2.17	2.09	84.16	80.92
10年目	H 25	0.99385	0.98942	0.99485	0.99289	0.9246	90.0	48.06	19.79	7.54	75.38	69.70	4.41	0.89	0.72	6.01	5.56	2.16	2.00	83.55	77.25
11年目	H 26	0.99381	0.98931	0.99483	0.99284	0.8890	90.0	47.76	19.57	7.50	74.83	66.52	4.38	0.88	0.71	5.97	5.31	2.14	1.90	82.95	73.74
12年目	H 27	0.99377	0.98919	0.9948	0.99279	0.8548	90.0	47.46	19.36	7.46	74.28	63.50	4.35	0.87	0.71	5.93	5.07	2.13	1.82	82.34	70.39
13年目	H 28	0.99373	0.98908	0.99477	0.99274	0.8219	90.0	47.16	19.15	7.42	73.73	60.60	4.32	0.86	0.70	5.89	4.84	2.11	1.74	81.74	67.18
14年目	H 29	0.99369	0.98896	0.99475	0.99269	0.7903	90.0	46.87	18.94	7.38	73.19	57.84	4.30	0.86	0.70	5.85	4.63	2.10	1.66	81.14	64.12
15年目	H 30	0.99365	0.98883	0.99472	0.99263	0.7599	90.0	46.57	18.73	7.34	72.64	55.20	4.27	0.85	0.70	5.81	4.42	2.08	1.58	80.53	61.20
16年目	H 31	0.99361	0.98871	0.99469	0.99258	0.7307	90.0	46.27	18.52	7.30	72.09	52.68	4.24	0.84	0.69	5.77	4.22	2.07	1.51	79.93	58.40
17年目	H 32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252	0.7026	90.0	45.97	18.31	7.26	71.54	50.27	4.21	0.83	0.69	5.73	4.03	2.05	1.44	79.32	55.73
18年目	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6756	90.0	51.76	20.39	8.04	80.20	54.18	4.72	0.86	0.64	6.22	4.20	2.64	1.78	89.06	60.17
19年目	H 34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6496	90.0	51.51	20.17	8.03	79.72	51.79	4.69	0.85	0.64	6.18	4.02	2.62	1.70	88.53	57.51
20年目	H 35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6246	90.0	51.26	19.96	8.02	79.24	49.49	4.67	0.84	0.64	6.15	3.84	2.61	1.63	88.00	54.96
21年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.6006	90.0	51.01	19.74	8.01	78.76	47.30	4.65	0.83	0.64	6.12	3.67	2.59	1.56	87.47	52.53
22年目	H 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5775	90.0	50.75	19.53	8.00	78.28	45.21	4.63	0.83	0.63	6.09	3.51	2.58	1.49	86.94	50.21
23年目	H 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5553	90.0	50.50	19.31	7.99	77.80	43.20	4.60	0.82	0.63	6.05	3.36	2.56	1.42	86.41	47.99
24年目	H 39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5339	90.0	50.25	19.10	7.97	77.32	41.28	4.58	0.81	0.63	6.02	3.21	2.55	1.36	85.89	45.85
25年目	H 40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.5134	90.0	50.00	18.88	7.96	76.84	39.45	4.56	0.80	0.63	5.99	3.07	2.53	1.30	85.36	43.82
26年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4936	90.0	49.74	18.67	7.95	76.36	37.69	4.53	0.79	0.63	5.95	2.94	2.52	1.24	84.83	41.87
27年目	H 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4746	90.0	53.96	19.90	8.70	82.56	39.18	4.39	0.73	0.56	5.68	2.70	2.56	1.21	90.80	43.09
28年目	H 43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4564	90.0	53.44	19.77	8.72	81.92	37.39	4.35	0.73	0.56	5.63	2.57	2.54	1.16	90.10	41.12
29年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4388	90.0	52.93	19.63	8.73	81.29	35.67	4.31	0.72	0.56	5.59	2.45	2.52	1.11	89.40	39.23
30年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4220	90.0	52.41	19.50	8.75	80.65	34.04	4.26	0.72	0.56	5.54	2.34	2.50	1.05	88.69	37.43
31年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.4057	90.0	51.90	19.36	8.76	80.02	32.46	4.22	0.71	0.56	5.50	2.23	2.48	1.01	87.99	35.70
32年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3901	90.0	51.38	19.23	8.78	79.38	30.97	4.18	0.71	0.56	5.45	2.13	2.46	0.96	87.29	34.05
33年目	H 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3751	90.0	50.86	19.09	8.79	78.75	29.54	4.14	0.70	0.57	5.40	2.03	2.44	0.91	86.59	32.48
34年目	H 49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3607	90.0	50.35	18.96	8.81	78.11	28.17	4.10	0.70	0.57	5.36	1.93	2.42	0.87	85.89	30.98
35年目	H 50	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3468	90.0	49.83	18.82	8.82	77.47	26.87	4.05	0.69	0.57	5.31	1.84	2.40	0.83	85.18	29.54
36年目	H 51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3335	90.0	49.32	18.69	8.84	76.84	25.63	4.01	0.69	0.57	5.27	1.76	2.38	0.79	84.48	28.18
37年目	H 52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3207	90.0	48.80	18.55	8.85	76.20	24.44	3.97	0.68	0.57	5.22	1.67	2.36	0.76	83.78	26.87
38年目	H 53	0.98943	0.99274	1.0017	0.99138	0.3083	90.0	48.29	18.42	8.87	75.57	23.30	3.93	0.68	0.57	5.17	1.60	2.34	0.72	83.08	25.61
39年目	H 54	0.98931	0.99268	1.0017	0.9913	0.2965	90.0	47.77	18.28	8.88	74.93	22.22	3.89	0.67	0.57	5.13	1.52	2.32	0.69	82.38	24.42
40年目	H 55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.2851	90.0	47.25	18.15	8.90	74.30	21.18	3.84	0.67	0.57	5.08	1.45	2.30	0.65	81.68	23.29
41年目	H 56	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.2741	90.0	46.74	18.01	8.91	73.66	20.19	3.80	0.66	0.57	5.04	1.38	2.28	0.62	80.97	22.19
42年目	H 57	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.2636	90.0	46.22	17.88	8.93	73.03	19.25	3.76	0.66	0.57	4.99	1.32	2.26	0.59	80.27	21.16
43年目	H 58	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.2534	90.0	45.71	17.74	8.94	72.39	18.34	3.72	0.65	0.58	4.94	1.25	2.23	0.57	79.57	20.16
44年目	H 59	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.2437	90.0	45.19	17.61	8.96	71.75	17.49	3.68	0.65	0.58	4.90	1.19	2.21	0.54	78.87	19.22
45年目	H 60	0.98858	0.99235	1.00168																	

便益の現在価値算定表

【残事業】

箇所名：一般国道56号 中村宿毛道路

年次	年度 (基準年) H23	総走行台キロの年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物車	普通貨物車	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1)~(3)	現在価値 割引率4%
		乗用車類	小型貨物車	普通貨物車	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1)~(3)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6756	90.0	6.01	2.28	0.79	9.08	6.14	0.52	0.04	-0.05	0.52	0.35	0.60	0.41	10.20	6.89
1年目	H 34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6496	90.0	5.98	2.25	0.79	9.03	5.86	0.52	0.04	-0.05	0.51	0.33	0.60	0.39	10.14	6.59
2年目	H 35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6246	90.0	5.96	2.23	0.79	8.97	5.60	0.52	0.04	-0.05	0.51	0.32	0.59	0.37	10.08	6.29
3年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.6006	90.0	5.93	2.20	0.79	8.92	5.36	0.52	0.04	-0.05	0.51	0.30	0.59	0.36	10.02	6.02
4年目	H 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5775	90.0	5.90	2.18	0.79	8.86	5.12	0.51	0.04	-0.05	0.50	0.29	0.59	0.34	9.96	5.75
5年目	H 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5553	90.0	5.87	2.16	0.78	8.81	4.89	0.51	0.04	-0.05	0.50	0.28	0.58	0.32	9.89	5.49
6年目	H 39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5339	90.0	5.84	2.13	0.78	8.75	4.67	0.51	0.04	-0.05	0.50	0.27	0.58	0.31	9.83	5.25
7年目	H 40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.5134	90.0	5.81	2.11	0.78	8.70	4.47	0.51	0.04	-0.05	0.50	0.25	0.58	0.30	9.77	5.02
8年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4936	90.0	5.78	2.08	0.78	8.64	4.27	0.50	0.04	-0.05	0.49	0.24	0.57	0.28	9.71	4.79
9年目	H 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4746	90.0	10.22	3.51	1.54	15.27	7.25	0.38	-0.01	-0.12	0.25	0.12	0.63	0.30	16.15	7.66
10年目	H 43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4564	90.0	10.12	3.49	1.54	15.15	6.92	0.38	-0.01	-0.12	0.25	0.11	0.62	0.29	16.02	7.31
11年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4388	90.0	10.02	3.46	1.55	15.03	6.60	0.37	-0.01	-0.12	0.24	0.11	0.62	0.27	15.89	6.97
12年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4220	90.0	9.93	3.44	1.55	14.91	6.29	0.37	-0.01	-0.12	0.24	0.10	0.61	0.26	15.77	6.65
13年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.4057	90.0	9.83	3.41	1.55	14.79	6.00	0.37	-0.01	-0.12	0.23	0.10	0.61	0.25	15.64	6.34
14年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3901	90.0	9.73	3.39	1.55	14.68	5.73	0.36	-0.01	-0.12	0.23	0.09	0.60	0.24	15.51	6.05
15年目	H 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3751	90.0	9.63	3.37	1.56	14.56	5.46	0.36	-0.01	-0.12	0.23	0.09	0.60	0.23	15.38	5.77
16年目	H 49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3607	90.0	9.54	3.34	1.56	14.44	5.21	0.35	-0.01	-0.12	0.22	0.08	0.59	0.21	15.26	5.50
17年目	H 50	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3468	90.0	9.44	3.32	1.56	14.32	4.97	0.35	-0.01	-0.12	0.22	0.08	0.59	0.20	15.13	5.25
18年目	H 51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3335	90.0	9.34	3.30	1.56	14.20	4.74	0.35	-0.01	-0.12	0.22	0.07	0.58	0.20	15.00	5.00
19年目	H 52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3207	90.0	9.24	3.27	1.57	14.08	4.52	0.34	-0.01	-0.12	0.21	0.07	0.58	0.19	14.87	4.77
20年目	H 53	0.98943	0.99274	1.00170	0.99138	0.3083	90.0	9.15	3.25	1.57	13.96	4.30	0.34	-0.01	-0.12	0.21	0.06	0.57	0.18	14.75	4.55
21年目	H 54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2965	90.0	9.05	3.22	1.57	13.84	4.10	0.34	-0.01	-0.12	0.20	0.06	0.57	0.17	14.62	4.33
22年目	H 55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.2851	90.0	8.95	3.20	1.57	13.73	3.91	0.33	-0.01	-0.12	0.20	0.06	0.56	0.16	14.49	4.13
23年目	H 56	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.2741	90.0	8.85	3.18	1.58	13.61	3.73	0.33	-0.01	-0.12	0.20	0.05	0.56	0.15	14.36	3.94
24年目	H 57	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.2636	90.0	8.75	3.15	1.58	13.49	3.56	0.33	-0.01	-0.12	0.19	0.05	0.55	0.15	14.24	3.75
25年目	H 58	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.2534	90.0	8.66	3.13	1.58	13.37	3.39	0.32	-0.01	-0.12	0.19	0.05	0.55	0.14	14.11	3.58
26年目	H 59	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.2437	90.0	8.56	3.11	1.59	13.25	3.23	0.32	-0.01	-0.12	0.19	0.05	0.54	0.13	13.98	3.41
27年目	H 60	0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0.2343	90.0	8.46	3.08	1.59	13.13	3.08	0.31	-0.01	-0.12	0.18	0.04	0.54	0.13	13.85	3.25
28年目	H 61	0.98845	0.99229	1.00168	0.99074	0.2253	90.0	8.36	3.06	1.59	13.01	2.93	0.31	-0.01	-0.12	0.18	0.04	0.53	0.12	13.73	3.09
29年目	H 62	0.98831	0.99223	1.00168	0.99065	0.2166	90.0	8.27	3.03	1.59	12.89	2.79	0.31	-0.01	-0.12	0.17	0.04	0.53	0.11	13.60	2.95
30年目	H 63	0.98820	0.99218	1.00168	0.99058	0.2083	90.0	8.17	3.01	1.60	12.77	2.66	0.30	-0.01	-0.12	0.17	0.04	0.52	0.11	13.47	2.81
31年目	H 64	0.98809	0.99213	1.00168	0.99050	0.2003	90.0	8.07	2.99	1.60	12.66	2.54	0.30	-0.01	-0.12	0.17	0.03	0.52	0.10	13.34	2.67
32年目	H 65	0.98797	0.99208	1.00167	0.99043	0.1926	90.0	7.97	2.96	1.60	12.54	2.41	0.30	-0.01	-0.12	0.16	0.03	0.52	0.10	13.22	2.55
33年目	H 66	0.98786	0.99203	1.00167	0.99036	0.1852	90.0	7.88	2.94	1.60	12.42	2.30	0.29	-0.01	-0.12	0.16	0.03	0.51	0.09	13.09	2.42
34年目	H 67	0.98775	0.99198	1.00167	0.99029	0.1780	90.0	7.78	2.92	1.61	12.30	2.19	0.29	-0.01	-0.13	0.16	0.03	0.51	0.09	12.96	2.31
35年目	H 68	0.98764	0.99192	1.00167	0.99021	0.1712	90.0	7.68	2.89	1.61	12.19	2.09	0.29	-0.01	-0.13	0.15	0.03	0.50	0.09	12.84	2.20
36年目	H 69	0.98753	0.99187	1.00167	0.99014	0.1646	90.0	7.59	2.87	1.61	12.07	1.99	0.28	-0.01	-0.13	0.15	0.02	0.50	0.08	12.71	2.09
37年目	H 70	0.98741	0.99182	1.00166	0.99007	0.1583	90.0	7.49	2.85	1.61	11.95	1.89	0.28	-0.01	-0.13	0.14	0.02	0.49	0.08	12.59	1.99
38年目	H 71	0.98730	0.99177	1.00166	0.98999	0.1522	90.0	7.40	2.82	1.62	11.84	1.80	0.28	-0.01	-0.13	0.14	0.02	0.49	0.07	12.46	1.90
39年目	H 72	0.98719	0.99172	1.00166	0.98992	0.1463	90.0	7.30	2.80	1.62	11.72	1.71	0.27	-0.01	-0.13	0.14	0.02	0.48	0.07	12.34	1.81
40年目	H 73	0.98708	0.99167	1.00166	0.98985	0.1407	90.0	7.21	2.78	1.62	11.61	1.63	0.27	-0.01	-0.13	0.13	0.02	0.48	0.07	12.22	1.72
41年目	H 74	0.98697	0.99162	1.00166	0.98977	0.1353	90.0	7.11	2.75	1.63	11.49	1.55	0.26	-0.01	-0.13	0.13	0.02	0.47	0.06	12.09	1.64
42年目	H 75	0.98685	0.99157	1.00165	0.98970	0.1301	90.0	7.02	2.73	1.63	11.38	1.48	0.26	-0.01	-0.13	0.13	0.02	0.47	0.06	11.97	1.56
43年目	H 76	0.98674	0.99152	1.00165	0.98963	0.1251	90.0	6.93	2.71	1.63	11.26	1.41	0.26	-0.01	-0.13	0.12	0.02	0.46	0.06	11.85	1.48
44年目	H 77	0.98663	0.99147	1.00165	0.98956	0.1203	90.0	6.84	2.68	1.63	11.15	1.34	0.25	-0.01	-0.13	0.12	0.01	0.46	0.05	11.73	1.41
45年目	H 78	0.98652	0.99141	1.00165	0.98948	0.1157	90.0	6.74	2.66	1.64	11.04	1.28	0.25	-0.01	-0.13	0.12	0.01	0.45	0.05	11.61	1.34
46年目	H 79	0.98641	0.99136	1.00165	0.98941	0.1112	90.0	6.65	2.64	1.64	10.93	1.22	0.25	-0.01	-0.13	0.11	0.01	0.45	0.05	11.49	1.28
47年目	H 80	0.98629	0.99131	1.00164	0.98934	0.1069	90.0	6.56	2.61	1.64	10.82	1.16	0.24	-0.01	-0.13	0.11	0.01	0.44	0.05	11.37	1.22
48年目	H 81	0.98617	0.99126	1.00163	0.98927	0.1028	90.0	6.47	2.59	1.64	10.71	1.10	0.24	-0.01	-0.13	0.11	0.01	0.44	0.04	11.25	1.16
49年目	H 82	0.98606	0.99121	1.00163	0.98919	0.0989	90.0	6.38	2.57	1.65	10.59	1.05	0.24	-0.01	-0.13	0.10	0.01	0.43	0.04	11.13	1.10
合 計								392.42	144.10	72.40	608.92	179.86	17.23	0.03	-5.54	11.71	4.56	27.04	8.57	647.67	192.99

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	中村宿毛道路	4・2	L= 23.2 km

■事業費内訳（全体事業費）

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					107,657		
	改良費				30,718		
	土 工	m3	5,139,585	8,626	切土(2,569,793m3)、盛土(1,837,267m3)、残土処理(732,525m3)		
	軟弱地盤改良工	m3	559,722	8,366	浅層混合処理工、深層混合処理工		
	法面工	m2	373,028	2,112	切土法面、盛土法面		
	擁壁工	式	1	3,384	補強土壁、大型ブロック積擁壁、ブロック積擁壁、重力式擁壁 等		
	管渠工	m	7,819	260			
	函渠工	m	3,119	3,073			
	排水工	m	74,521	2,135			
	中央分離帯工	m	6,332	1,048			
	雑 工	式	1	1,715	工事用道路(1,040m)、景観施設整備 等		
	橋梁費				57,045		
		100m以上	m	4,586	53,790	PC橋(9橋)、鋼橋(6橋)	
		100m未満	m	357	3,256	PC橋(7橋)、鋼橋(4橋)	
	トンネル費				12,056		
		NATM	m	4,893	12,056	10本	
		シールド	m				
	IC・JCT費				3,453		
		IC	箇所	4	3,453	トランペット型(1)、立体Y型(2)、平面Y型(1)	
		JCT	箇所				
舗装費				3,230			
	車道舗装	m2	368,229	3,110			
	歩道舗装	m2	26,146	121			
付帯施設費				1,155			
	交通管理施設工	式	1	1,155	標識工、防護柵工、道路照明 等		
	遮音壁	m					
②用地及補償費					15,000		
	用地費		m2	1,264,576	5,982		
	宅地	m2	107,489	3,762			
	田畑	m2	546,974	1,914			
	山林・原野	m2	610,112	305			
	その他	m2					
	補償費	式	1	9,018			
③間接経費			式	1	9,361	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費					132,018		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	中村宿毛道路	4・2	L=20.7km

■事業費内訳（残事業費）

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					16,524		
	改良費				4,717		
	土 工	m3	1,528,592	1,643	切土(60,243m3)、盛土(771,844m3)、残土処理(146,505m3)		
	軟弱地盤改良工	m3	33,341	203	浅層混合処理工		
	法面工	m2	116,840	540	切土法面、盛土法面		
	擁壁工	式	1	1,047	補強土壁、大型ブロック積擁壁、ブロック積擁壁、重力式擁壁 等		
	管渠工	m	3,078	96			
	函渠工	m	473	436			
	排水工	m	25,779	539			
	中央分離帯工	m	5,880	102			
	雑 工	式	1	110	工事用道路、景観施設整備 等		
	橋梁費				6,720		
		100m以上	m	1,402	6,634		
		100m未満	m	20	85		
	トンネル費				3,121		
		NATM	m	640	3,121		
		シールド	m				
	IC・JCT費				922		
		IC	箇所	3	922	トランペット型(1)、立体Y型(2)、平面Y型(1)	
		JCT	箇所				
	舗装費				747		
		車道舗装	m2	89,582	747		
		歩道舗装	m2				
	付帯施設費				298		
		交通管理施設工	式	1	298	標識工、防護柵工、道路照明 等	
		遮音壁	m				
②用地及補償費					1,023		
	用地費		m2	1,264,576	273		
	宅地	m2	7,299	178			
	田畑	m2	13,953	34			
	山林・原野	m2	39,080	62			
	その他	m2					
	補償費		式	1	750		
③間接経費			式	1	3,053	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
残事業費					20,600		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	中村宿毛道路	4,2	23.2km

■維持管理費内訳（全体事業費）

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	23.2	2,509	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,606	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			10,115	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	中村宿毛道路	4,2	20.7km

■維持管理費内訳（残事業費）

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	20.7	2,613	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,709	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			8,322	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。